# 滿洲日報

清曆九月三日（かのと、う）

新聞代價表 一枚三錢 一ヶ月金六十錢 半ヶ年金三圓四十錢 一ヶ年金六圓五十錢 滿洲各地への配達は郵税一不申受

廣告 五號活字十九字詰一行一回五十錢 特別廣告

發行所 營口南本街 滿洲日報社 電話 編輯室一一 事務室二九

奉天大西門內 滿洲日報社支局
全十間房 滿洲日報社出張所
鐵嶺火神廟街 滿洲日報社支局
公主嶺市街 滿洲日報社出張所
遼家屯 滿洲日報社支局
大連信濃町 滿洲日報社支局
長春城內 滿洲日報社出張所


汽車發着時刻表

## 論說

### 河北驛と郵便局との交渉問題

本紙雜報欄に詳述せる如く、去る五日夜河北驛駐在、運輸監督官デー、ケラー氏は突然我が郵便局に對し、自今郵便行嚢は一級運賃即ち一担一哩五厘の運賃を支拂あり度と照會し來り我が當局者よりは未だ何等の交渉を開始せざるに、翌六日朝、天津總局の訓令に據り、日本郵便物輸送を一切謝絶するの旨を申し來り、七日朝に至り、復た亦た一級運賃を支拂ふに於ては、運輸方取扱ふべき由を通知し來れり。

抑も楡營郵便即ち山海關營口間に於ける我か郵便物輸送は、遞送人の二等乘車賃を拂ふのみにて、其携帶郵便行嚢は、假令へ幾百個の多數あるも、總て無賃なりき。此れ清國官憲の好意に出でたる寛典にして、或は合法ならざるやも知れず。倘し清國にして財政整理上、利權の漏巵を防ぐの一端として、之を改正せんとならば、預め我が當事者と委曲交渉を開始すべき筈なり。然るに突然我に一級運賃仕拂を命ぜしのみならず、翌朝郵便差立時間に際し、魯莽にも我が郵便物運輸を謝絶すとは、咄々底等の怪事ぞや。若し預め我に此事を通知し來りしならば、大連より船送その便なきにあらざるに、事突嗟の間に起り、我か當事者をして狼狽懊惱せしめ、終に同日の郵便發送を廢するに至らしめしは、決して國際間相互の利益を敬重する友誼的の手段と謂ふを得ず。

日清郵便條約に據り、兩國郵便物は彼我交換托送するとを得べし。現に營口より滿鐵線を經由する清國郵便物は、皆彼の托送を受けて、我か郵便局の取扱ふ所に掛れり、關內外線を經過する天津北京地方へ發送の我か郵便物は、或は彼に附托するの優れるやも知るべからず。楡營間郵便物を清國に附托せさるは、清國郵便を信用せさる軍政時代の遺習たるや疑を容れず。清國か採用實施せる文明諸制度中、鐵道の如きは、規律混亂して貨物紛失破損の如きは日常茶飯事にして、甚だ信賴し難きも、郵便制度は比較的整齊せり。吾人久しく中央及び南方支那に在りて、遠隔の故人と魚雁の往來頻繁なりしが、延着は時に之れなきを保せさるも、不着は殆と絶無なりき。然とも此れ別問題にして、今ま玆に論すべきにあらず。此次清國か我に運賃を請求し、更に運輸を謝絶せんとするに至りし動機の發せし處を察するに、我が郵便物は貴國に托せるに、貴國は何故に我に托せさるやとの排外自負心の外ならさるべし。若し果して然らは、何故に豫め我と熟議せさる哉、我にして彼に托するの便且つ安なるを悟らは、何を苦みて自ら此の事を爲ん哉。目下我か當事者は、本省に詳細を報告し更に天津郵便局に打電して、事情の調査中なれは、不日其眞相發露せらるべし。要するに利權回收、排外自重の僻見に過ぎざるべし。清國が時勢に昧く、自力を悟らずして、屢々突飛の愚案を呈出し、結局龍頭蛇尾に終はらざるなきは、吾人清國の爲めに深惜に堪へず。（止戈）

### 中山一位局の薨去

昨東電は突傳ふらく、中山一位局遂に病を以て薨去せらると、何ぞ哀悼に堪へんや。一位局は長くも我聖上陛下の御生母に當らせられ、御老體とは申せ未だ遽に不祥事の之れあるべしとも察せられず、吾人は其幾百年も彌や榮えまさんとを祈り侍べりしに、今突として此凶報に接す、吾人は九重の奧深く御愁傷に沈ませ給はんを拜察すると共に、國民の悲嘆の亦涯り無きを思はずんばあらず謹みて敬意を表し奉る

### 滿鐵の大連埠頭直營

滿鐵大連埠頭荷役直營一たび實行せられてより、議論紛々、反對の聲頗る喧しく、昨は又荷主の將來仲仕及び苦力頭に對しポッケット・マネーを要する無きや杞憂せしむ、是れ固より杞憂に過ぎざるべきも、今の滿洲に在りては當然の疑惑と謂ふべし。埠頭直營は必ずしも滿鐵の利益事業にも非ざるに、滿鐵か怨嗟の府と爲りて迄、其の萬能主義を振廻はさんとするは、寧ろ物數寄の至りと謂ふべし。唯だ此荷主等の抱ける杞憂に對しては、滿鐵當事者は將來に於ても決して此事無きを確保せる、聊か吾人の懼れ安んずるに足る

### 善隣時事

▲吏部廢止の説　近來軍機處內に於ては吏部廢止の説頗る熾んにして殊に某某兩軍機の如きは頗る熱心に之を主張し立憲實行の上論出でたる今日に於て徒らに成例を株守する吏部の存置は寧ろ百害ありて一利無く立憲選擧人を得る所以に非ずとて極力廢止を主張し居れりといふ

▲孫公使歸國の電命　新任獨乙駐在公使孫寶琦氏は佐政の才あり頗る諸元老中に重んぜられ居るを以て今回軍機處に任用せらるゝと爲り己に去月三十日歸國の電命を發せりといふ

▲蔡公使放逐の原因　前駐日公使蔡鈞氏が放逐の原因は營利の爲めなりとの説あるも今外務部側の説なりといふを聞くに同氏は前に上海に南方報を設け極力政府を排斥したると近日に至り明白なるに至れるを以てなり

▲外交報の發行　近時外交の事に關し傳説の訛誤よりして其眞相を失ひ外交上至大の障害を來すべきを以て今回外務部に於て外交報なるものを發行し專ら外交に關する事實を報道すべしといふ

▲張氏の趙總督紹介　張之洞氏軍機處に入り兩湖の出身北京に在る者を會し懇親會を開く席上新任湖廣總督趙爾巽氏を請待し紹介して云ふ趙氏を視る猶我を視るが如くならんとをと辭意懇懃張氏の兩湖人心を得たる偶然に非す

▲登庸試驗と日本　先年留學生登庸試驗の擧行せらる、頗る偏頗の迹あり其優等合格を得たる者悉く米國留學生と爲す物議紛然此次十月四五兩日を以て又之が登庸試驗を見る前回の失態に鑑みて試驗委員として日本留學出身者一名を加へたるも未だ重きを爲すに足らずといふ結果や設想に足る

### 一人一話（六）

#### 露公使バクメチェフ君（下）

猶兩國民の親睦に就て彼我人民の交際必要なれば露國人の日本に來遊するもの多きを加ふると共に日本の實業家代議士新聞記者諸君の我が露國に遊びて仔細に交際視察せられんとを望む、本官も兩國人民の親睦を謀るとに就ては充分に盡力をべしと斯くて談終るや壁上に掲ぐる伊藤春畝公の揮毫に係る「承平雅玩」の額を指して自ら其意を説明し斯かる泰平の御代に於ては珍品奇物を賞玩するも亦一興ならめとて自ら座を起て室内所狹きまで壁間机上長椅子等に陳列安置せる美術品古物等を示して一々其の出所を説明されたるが其の中には希臘の古色蒼然たる兜、刀劍、土耳其、西班牙、伊太利、佛蘭西の珍品美術品等より日本にて購はれたる阿彌陀の佛像、日本刀、具足並に種々の美術品亦少からずして公使の鑑識の凡ならざるを知るに足る、夫れより公使は館内各室を案内せられて言はるゝやう館は各室狹くして不便甚しければ近々廣き客室を增築する見込なり今見らるゝ所の此の室內に在る品々は皆余が携へ來りたる古物品のみにして椅子に至るまで一も新規に買ひ入れたるものなし唯椅子に懸けある絹地と替へたるのみと是に於て記者は公使の長時間の厚遇を謝して辭し去りぬ

### 經濟小話

一記者

中野武營氏は單に手腕の實業家にあらずして確に一面に理想に憧がるゝの人なり、多くの場合に於て極めて着實なる理想の宣傳者なり、氏嘗て云く

我國の貿易は隊伍組織とすへし、而して我が貿易年額を二十億圓にまで進めざるべからずと、言甚た簡なれど意味極めて深重なり、貿易品は物品の整齊を大切なりとす、同一の物品を同時に荷爲替に組むを以て運送上至便にして至利とするのみならず、販賣上にも需要者の疑惑を受くるなきの利益あり、之れ中野氏か隊伍組織の輸出貿易を口にする所以なるへし

年額二十億圓の貿易を見ることは固より至難の事なるへしと雖も日露戰役によりて二十餘億の債務を負へる我か國か貿易出超によりて年々債務を償却するの策に出るの甚た是なるは言ふ迄もなし、氏は則ち斯くして二十年間に戰爭債務を全部銷却せんとの所存なるへし、我輩は氏の意見に甚しき異議を挾むの餘地なし、願はくは此くして經濟的重圍より我國を脱せしめたきものにこそ

### 滿洲百人物

#### （八）古色軒蒼然（下）

翁は東洋流の豪傑なり。此の疊流の多く不遇に終る所以は、抱負徒に大にして、頭腦の甚だ疎なるに在り。翁の數學に精通するより推すときは、其頭腦は精緻ならずと謂ふを得す、而して猶此の疊流の厄運を脱する能はさるは、蓋し其性質狷介孤峭にして、人と世と共に推移する能はさるに因るならん。失敗者は常に既往を語るとを好む。偉才板垣伯の如きも、猶此弊あるを免れず。翁は曾て既往を語らす、將來を談ぜす、同學の故人は、鷹揚、龍驤、衣馬輕肥にして、或は大將となり、或は男爵となるの時に際し、獨り滿洲日報社內に蕭然孤居、一日數回冷酒を立飲し、時に市場に赴きて鮮魚を買來り、親ら割き親ら煮て獨飲獨酌、微醺に乘して編修室に入り、三文駄作の小說迄校正して厭ふ處なし。翁や職微俸薄にして、鬢絲禪榻の畔に、茶煙落花の風流を學ぶと能はされとも、猶是れ自存自活、活動の人たるを失はずして、之を躑鷹の手を將つて、山中に向ふて六時を禮する寒巖枯木の野狐禪に比すれは、其優れるや遙に遠し。

噫、疇昔の夢、今日の感、英雄首を回せは即ち神仙とは、翁にあらすして誰ぞや。仙に數種あり、酒仙、茶仙、棋仙、而して翁は其れ酒仙なる哉。

### 偉人の愛讀書（上）

ベトーベンは歷史と小說を好めり。

カウバーは唯だ聖書と祈禱書を讀みたるのみ。

ハラムはリヴヰーが、模範的歷史家なるとを云ひき。

チヨーピンは佛蘭西小說の外、絶えて硬文學の書籍を讀まず。

オーバーは讀書を憎み、何か必要ならざれば決して書を手にせず。

シーザー、ボルジアは、藝術に關する書籍の圖書館を有しき。

チチアンは祈禱書と、オビットのメタモルホーセスを讀めり。

ウオルテーヤの愛讀書は、諷刺家ジユベナルの小說なりき。

ロツシニーは殆んど三十年間、佛國小說の外何物をも讀まず。

ジヤン、ポール、リヒテルは、唯だ五六冊の哲學書を讀みたるのみ。

### ▲日報文壇▼

#### 偶成

岡部鹿村

悠々眞自適。鹿境尚仙寰。貧裡乾坤濶。忙中日月閑。三餐以養譔。一醉常開顏。又喜秋光好。不愁鬢作斑。

浩々吟翁曰。鹿村任海外十餘年矣。學博識高。能通諸國語。最邃英學。本社路透電報。精緻而老鍊。諸同人所齊嘆服也。君多材多技。能騎馬弄球。又曾在枕山之門學詩。古調古意。足以觀其養神存志之深。此尤不可及也。

#### 遼河々畔にて

しげを

引汐に眞帆孕ませて下りけるジヤンクの苫に夕日輝く

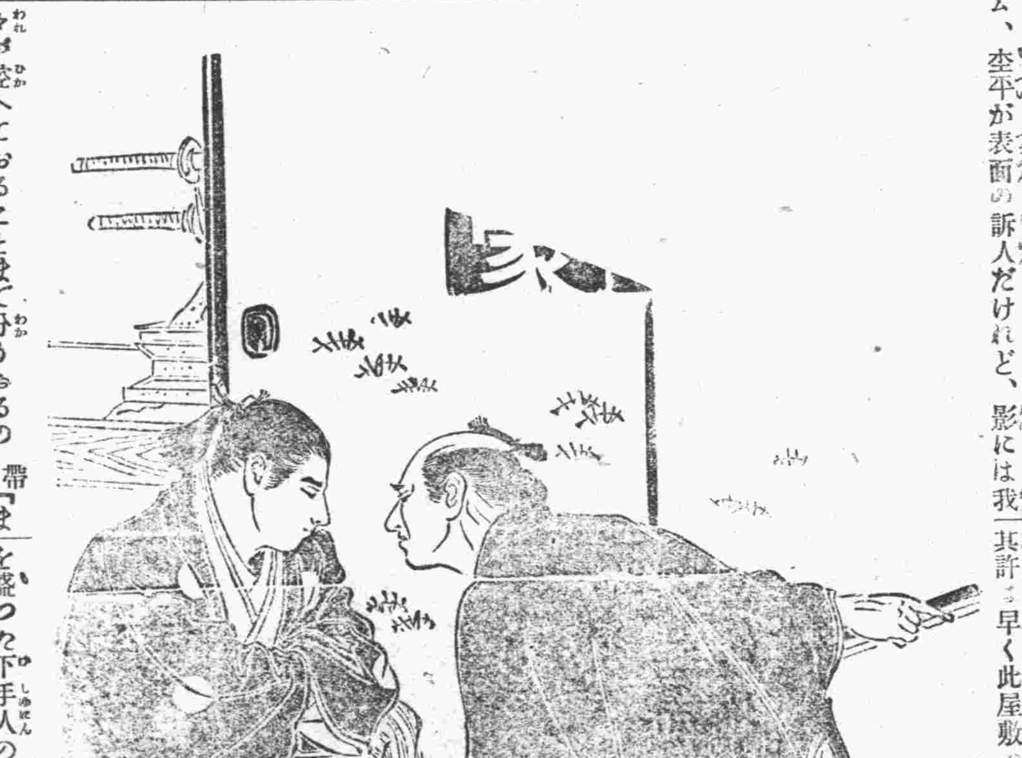
漕ぐ船の波に黄金の碎けつゝ欸乃高し遼の大河

### 快男兒

#### 第八十五回

渡邊默禪

兵帶「ナニ、身共を毒害ッ」と打驚いて膝を進ませました、李平はつと立上つて障子を開き、椽先きを見廻はして人氣なきを確めたる後、席に戻つて聲を密め　李「何んてもこりやア、この屋敷の內にお二人さまを殺そうと企む奴があつて、コツソリ一件ものを、盛りやアがつたに違へねえと、私ちやア勘を据へやしたんで、後の證據に喰ひ殘りのお菜と汁それから板札までも取つて置きやした、エもしお二人さまへ、こんな安排しきちや、お茶一ぺえ召上るにしても、うつかり口に付けられやせんぜ、どうも油斷がならねえぢやアゴワせんか」と太息を吐けり、兵庫は例のごとく唸きまして　兵「ウム、ウーン、毒害をしやうとは、さてさて卑怯極まる手段、何もの、仕業か知らんが怪しからん奴もあればあるもの、イヤ李平、大きに辱じけない、汝が早くそれと氣がついて知して吳れた穿鑿で相分り申した上からは、棟庵と清水との間に切つても切れぬ緣故のあることは明白である　帶「又た棟庵および龜吉までも今日にいたるまで、刑法官の手入れの無いところを見ると、清水とその刑法官との間にも、何んぞ一種の臭味があつて、清水が甘く執成した爲に、棟庵一輩のものが、今以て縛につかぬことと推察されまする　兵「如何にも　帶「して見ると清水の方には、棟庵を訴へ人したものを殘らず知つておらんければならぬ筈　兵「ウム、李平が表面の訴へ人だけれど、影には我々が控へておることまで分りおるの　帶「まづ左樣に判斷しなければなりませんなア、スルト清水、棟庵等に取つては我々等の當の仇敵、假令日蔭の身ながらもこれより、私等もこの先用心するやうなものぢやが、承知致さんければ明日にもコロリ……貴樣は命の親ぢや、辱けない　李「エヽ、何んのそんなことよりも、毒をもりやがつた、野郎の詮議を早くなせえやし　兵「大きにそうぢや、どうだら帶刀氏、その許の鑑定は、我れ〱は、別に他人から、意趣遺恨を受けるやうな覺へもないが憎むべき奴等ぢやノ」默して腕叉き、靜かに聽き居たる帶刀莞爾と笑みて　帶「矢張これは、棟庵一味のものが仕業でござらう　兵「ナニ棟庵一味…何ぜぢや　帶「されば先達て、李平が見かけし長持、それを運んだものが、長州豐浦藩の兵隊であつて、然も清水の組下である事が、李平の斯樣にいたして存命してゐる上からは、枕を高く、安眠も出來ないと推されまする、それゆえに何卒して、我々を現世から追ひ拂ひ、禍ひの根を絶ちたいものだとは、彼等の胸に絶えない考へであらう　兵「ウン、成程そうぢや、この鑑定に誤りなくんば、毒殺の根原も、自から明らかなる次第で、清水と同腹の賊か、この屋敷の內に入り込みゐるに相違ござらん、即ち其奴の手から、二人の膳部に毒を投込んだものであらうと推察致す」と掌をさすがごとき言葉なり、兵庫はいよ〱驚いて　兵「ウム、天晴なる明察、それに聊かも違ひはござるまい、よし〱左樣な義なれば拙者これより、直ちに豐浦藩の毛利家まで罷り越して、嚴重の懸合をいたす、思へば憎つくい惡人輩ぢや、コレ帶刀氏、其許は早く此屋敷の番兵頭まで申出て、毒を盛つた下手人の吟味に取掛るやう、手詰の談判をなさい、エツ、怪しからん奴、コレ〱李平駕籠をよべ」と性急なる老人の事とて、俄に息卷き立てるを、帶刀は靜かに押とめ　帶「イヤ〱左樣に荒立てなされては、反つて此方の不利益、勞して何んの功なきばかりか、愈よ危險に陷ります、是れは兵庫どの箇樣になされ、李平お聞け―と摺よつて何事かヒソ〱と囁くや、兵庫は首肯き　兵「あゝ左樣か、それや成程よい思案じや、流石は其許は才物ぢやの」と膝を打つて感心せり



△△△

露西亞の鐵道を敷設する、其停車場は大抵市街から一里も二里も隔たつて居て、人の集まつて來るのを閑氣に待構へて居る、流石は大國だ、日本人はセキカチで何うもさういふ譯に行かぬ、營口の鐵道延長問題の如きは其著しき例であらう、併し其セキカチが善いか惡いかは自ら別問題に屬するのである。

△△△生

我紙は滿洲商業の唯一機關を以て任じ記事精確趣味豊富在滿邦民及び滿洲の事情を知らんと欲する者は一日も我紙を閑却すべからず

## 倫敦電報

**●名士の逝去**（七日發電）　英國ブラムトン卿は本日逝去せり

**●社會黨抗議**（同上）　社會黨員は昨日其大會を巴里に開き摩洛哥遠征は獨國を激發せしめて歐洲戰爭を惹起するの虞ある旨を宣言し最も強硬に該遠征に對して抗議せり

**●ワイス氏の勝利**（同上）　球戯界のチャンピオン、ワイス、ロバートの兩氏はニユー、アルコーバル球戯場に於て雌雄を爭ひしが一万二千五百三十四點に對する一万四千點の多數を以てワイス氏の勝利に歸せり

## 東京電報

**●清國公使の新任披露**　七日午后五時東京特電　新任清國公使李家駒は今日舊公使との間に事務引繼きを了し其より外相を訪ひ新任披露を爲せり

## 雜報

**●隈伯の英露協商評**（つゞき）

▲這般該協約の成立したる所以を繹ぬるに日露戰爭全く之が最近の導火線を爲せるものなり抑も日露戰爭が世界の平和を齎せる效果の至大なるに至ては實に世人の想像以外にして曩には歐洲に於て英佛協約の成立を見近くは日佛日露兩協約を生み今又茲に英露協約の締結を促すに至る是に由りて之を觀れば日露戰爭は啻に極東の平和を維持するに偉大の效果ありしのみならず又世界の平和に非常の效果を奏せるものと謂べし

▲我國は歐洲の文明を學ぶこと僅々五十年に過ぎずして却つて反響を歐洲の平和に及ぼし一百餘年相反目せし英露を接近せしむるに至る果して然らば日露戰爭が拂へる犠牲は洵に高價なるものありしと雖も其功績は之を購ふて遙に餘あるものと謂はざるべからず

▲該協約の結果として英國は印度に於ける防備を緩ふすることを得べく日本は又之により日英同盟に伴ふ印度に於ける攻守同盟の責任を輕減するを得べし露國に至りては今後暫らく國外侵畧の鋒鋩を收め鋭意內治の改善に努力するの結果其國土內に藏する無限の富力は開發せられ革命黨は漸次鎭撫に歸し文物燦然として開明の域に向ふべし

▲之れを要するに日本の勃興は人類の平和に效果を及ぼすこと甚だ大にして近時踵を接して締結せられたる諸協約は漸次世界統一の理想に向つて現社會を進めつゝあるものなり而して宗教家は人道の立脚點により神の力を藉りて此の理想を實現せんと欲し政治家は政略により人力を以て此の理想に到達せんと努む時も此兩者は相互に結合し協力して此理想の爲に盡瘁する場合尠からずと雖も吾輩は政治家の立脚地より人力を以て世界統一の大理想に近づかんが爲に努力奮闘せんと欲す云々

**●タフト氏の西比利亞鐵道**　…附、露國の國賓待遇…

米國陸軍卿タフト氏は我國觀光の上去三日比島視察の途に上れるが卿か今后の行程を聞くに西比利亞より歐洲地方を巡遊し順次歸國の都合なるが在紐育萬國スリーピング、カー會社の支配人ガーセイ氏の如きは此長時間の滊車旅行中タフト氏をして最も愉快ならしめんが爲氏が西比利亞線通過の際は從來同線に於ける露國用の列車よりも結構善美を盡せるものを特に供給の約束せり此列車は食堂車寢眠車眺望車の都合三輛より成り同社の極東代理人ダルチル氏は此際浦鹽より莫斯科迄陪乘して種々周旋する由にて此の特別列車の停車する箇處は唯伊爾哥斯科驛一箇處のみなるが露國政府も亦國賓として充分鄭重の待遇をなすべく己に同鐵道當局者に其訓令を發したりと

**●極東に於ける露國の今後**

以前外交官として久しく極東にありしよりイグナチエウ伯は極東に於ける露國の位置に關して左の如く云へり

露國か極東に於て如何なる方法にて前進すべきかは目下定りたる處なし然れども露國には古來一定の軌道あり此軌道より外れたる道を極○に取るものあらずと信ず露國は浦鹽丈けを有するを以てこれに十分の武備を施すは勿論なるか別に軍港を求むるの意なし企圖心深き隣國の加働的働作に對して當然の防備を爲せは足る▲プルモルスカヤオブラスク及黑龍江地域は戰時少なからぬ損害を受けたるものなるにより此の損害を償はん爲浦鹽及ニコライスク經由の露人外國人間の商事交通の爲には一切の力を盡くすへし之と同時にトランスバイカル前に稅關を設け內地の商工業の保護を勉むへし

**●中橋商船社長談**　…西比利亞の現狀に就て…

西伯利亞に於ける現今の狀態は戰役中に於ける警戒を持續せると異ならず外國人の旅行は露國政府により警戒の監視を受るのみならず其發信の如きは悉く檢閲を經ざるべからず特に日本人に對して嚴を加ふるものにして予が浦鹽イルクツク等より發したる書信は多くの時日を經て漸く先方に達したり殊に奇なるはイルクツクより發したる電報が予を南滿鐵道により目的地に達したる後に於て到着したる事實さへあり此の如き狀態なるが故に商取引の交涉に際しても機を失すると常にして商業の發達を阻害しつゝあり又輸入貨物の如きに於ても兵器彈藥煙草其他の禁制品たらずやとて屢ゞ苛酷なる撿査を受くる事ありて商人等の困難尠からず要するに露國政府現時の態度は日本人に對し悉く善意の觀察をなす能はざると共に商業を全然無視する態度なりと云はざるべからざるが如し云々

**●郵便局と河北驛との交涉**

從來營口山海關間に於ける日本郵便物は遞送人の乘車賃（二等車賃）を拂ふのみにて郵便行嚢は數十個乃至百個あるも皆携帶品として別に運賃を支拂はざりしか去る五日夜河北驛駐在運輸監督官デ、ケラー氏より以後郵便物は一級品運賃支拂あり度旨照會し來り我か郵便局長よりは未だ何等の交涉を爲さゞるに先ち去る六日早朝該通知を取消し更に昨日より該鐵道に於ては日本郵便物の輸送を一切取扱はさる旨申來れるに付き該局長は取り敢えず小官は斯る通知を受諾すへきの權能なきに付き東京本省より何分の訓電を得る迄實行延期あり度旨の書面を送り同時に從前の通り差立を爲したるに其積載を拒絶すると共に天津總局よりの訓令は絶對的なれは遺憾なから貴意に應し難き旨の回答あり間も無くケラー氏來局して天津總局の訓令甚た急劇なれは惡しからす御承知あり度旨を述へたり然るに同夜更に一級品の運賃を支拂ふときは積載差支なき旨の通知を送り來れるを以て我か郵便局は一昨朝兎も角もして運賃を假納して差立を了せり目下其筋の手を經て天津總局に交涉中なる由

**●銀貨輸出禁止に關する交涉問題**（承前）

該案に對する我が重もなる商人の意見は邦商中實際に銀貨輸出に從事する者なければ其利害の影響する處深からずして若し道臺の豫期する如き效果を收め得べきに於ては寧ろ賛成せんとするに在り而して此に關し英領事の諮問に答へたるブッシュ商會の意見は左の如し

昨日（十月二日）御照會の件に付き拙者は今冬期に於ける營口市民金融上の困難を救解せん爲め銀貨輸出を禁止せんとする道臺の企望に深く同情する者に候へども又一方には道臺は我等條約上の權利に制限を附せんとを貴下に要求する者なるは忘るべからざる儀にて此は將來大困難を生ずるに至るべきかと存じ候

若し此の制限が地方官吏の一時慈善的政策ならば銀貨輸出禁止は十月一日より翌年三月一日迄（所謂冬期間）下の如き條件にて御許諾あり度即ち各種銀貨が他の通路に依りて滿洲より輸出せられざるとを道臺が保證するならばにて候其譯は銀貨の供給は獨り當港に限らずして弘く內地の各市より來り而して獨り當港より其輸出を禁止する時若し土人が他港より之を輸出し能ふならば內地よりの輸入は閉塞せられて其結果は當港に於ける供給の減少となりて結局道臺の企望に正反對するに至るべく候

若し一個月の猶豫を與ふる時は各商人は南部に於ける彼等の取引を完了するを得て斯の如き急劇の政策より生ずる所の經濟上の破綻を免れ得可きかと存候

該案は目下試驗的に施行中なれば其結果の如何領事團の意見如何等は滿期の上更に報道する所あるべし（完）

**●唐巡撫總督たらん**

目下北京滯在中の徐總督は過日各軍機大臣等と東三省內治外交に關し協議をなしたる時徐總督は其統治の頗る困難なるを說きて私かに奉天に歸任するの本意ならさる旨を述べたる由なるが其后兩宮に謁見せし折も自己の其重任に堪へざるを言上し且つ唐巡撫の內治外交に熟達し名望內外に高きを以て東三省總督としては最も適任なるへき旨を奏上し極力唐巡撫を推擧したりとの事にて奉天官場間に於ても此說盛に噂させられつゝありといふ

**●人才登用の訓令**　東三省督撫は前日各司道に訓示して人才を登用すへき旨を傳へたり其大畧に曰く、政を爲すの道は主として人材の登用にあり今回の官制改革に於て承宣廳なるものを設けたるは專ら吏治を整頓せんか爲の目的に出てたるものなり東三省の新官制は各省の先導たる責あれは務めて情面を破除し名を避け實を擧け以て地方の幸福を計らさるへからす云々

**●哈埠地方自治大會**

本月一日哈爾賓在留の露國人中商業家資本家等美術戯園に於て土地の租借者地方自治大會を開きたるが來會するもの三百餘名目下來遊中の同國樞密大臣シーボフ氏東清鐵道副總裁コロンチフス氏同ヘルビン總領事ルーバー氏及び在留露國商人中の有力者も來會し午後五時半開會在留同國人の地方自治團設立に關し章程起草其他に就て討議を爲したるも鐵道局側の反對ありて遂に解決に至らず第二次大會を近日中に開くとを期して散會せしとハルビン近信に見えたり

**●泡沫株式會社撲滅說**

日露戰后の好景氣に驅られて起りたる新會社中には其后財界の人氣銷沈せる爲め創立事務所を開始したる丈けにて眞面目に會社の成立を期するなく中には既に第一回拂込金を創業費に費やせるものあり今后新會社の興敗は財界の一問題として研究せらるゝに至るべし而して解散論者中には權利株を買ひ集め盛んに解散說を吹聽し甘く運べば拂込金全額の拂戾を受けんとし或は解散說鼓吹の爲め權利株の市場に騰貴するを待って利喰賣逃をなさんと企むもあり之に反對して極力非解散說を主張する向には自ら役員の候補者に擬せる者あり會社成立の上物品の買入に公密錢を得んとする者あり其內幕を探れば眞に醜劣聞くに堪えざる事情あり斯る泡沫會社は縱し幸にして成立するとも對來再び財界に波瀾を生ずる基となるべければ寧ろ速に滅絶せしむるに如かずと某經濟家は語れり一說として茲に掲ぐ

**●農產物の作柄**

今秋に於ける滿洲農產物の收穫豫想高に就ては人々看る所に依りて諸說區々なりと雖も今各說を綜合すれば大体上播種季に於ては適度の降雨ありて頗る好望なりしも成熟季に至り北部地方は雨量少なかりし爲め成績甚だ不良に終り南方は概して豐收の見込なれども降雨多量に過ぎ地方に依りては作物を腐蝕せしめたる所も少なからず之れを要するに南北滿洲を通じて平均七分作と見ば大差なからん然れども一面に於て假令收獲不良なりとするも他の一面に於て作付反別は例年に比し大に增加し居れば滿洲全体の總收獲は平年に比し格別の差額なかる可しと云ふものあり算數上或は然らんかなれども實際上農產物の不作は購買力の減退を免がれざる可く殊に北滿洲に於ける本年の變作は非常の凶作なりし由なれば苟も滿洲の輸出入貿易に關係を有する者は貨物の輸入に就き相當の手加減を要するは勿論今後の成行に就き充分の注意を要する次第なりと

**●當九月中の商況**　仲秋節句則舊八月十五日（陽曆本月二日）以前に於て稍ゝ活氣を示し諸品共相當の取引ありたれども十六日（陽二十三日）以後は舊九月一日（陽十月七日）の過爐銀取引決算期に近きつゝあるを以て金融上重要商品の取引は一切休止の姿に有之候▲滿洲地方の農作物は仲秋の節句（舊八月十五日）過ぎより取入に着手し弗ゝ市場に持出すを例と致し居候事とて大豆其他の穀類はソロ〱當地へ出廻り有之候得共未だ一般の需要を充たすに足らざるを以て賣方不相變高値を唱へ居り不引合の爲め需口の外大取組は無之候尤も昨今新大豆日々五六百石位は入津有之候舊九月中旬頃より一日二千石以上の新大豆來着すべき見込に有之候其節に相成候得者直段も引合候樣相成可申歟と存じ候豆粕製造に一石九兩臺の大豆を使用致し居候ては油坊も立行き難からんと存ぜられ候▲元來當地に於ける新舊式油坊の生產力は一日に豆粕三万枚以上に有之候得共目下原料欠乏の爲め一日の出來高二万枚未滿に過ぎず然れども本年は更らに新式機器油坊二ケ所も增加し近日作業開始の運びに至る趣きなれば新大豆多量に來着致し候頃には生產高優に三万五千乃至四万枚に達し可申と存じ候▲兎に角本年度は當地は勿論滿洲一圓共未曾有の不景氣に候得共舊九月中旬以後に相成候得者豆粕の需要の季節と相成又滿洲內地の農家一般に收獲物賣却の結果として購買力も漸次增進可致旁ゝ一般商品の賣行も活潑に相成可申從て輸出入共頻繁に赴き可申內外各商店共聊か前途の光明を認め愁眉を開きつゝある模樣に有之候（松茂洋行報告摘錄）

**●大豆の市況**　愈々新大豆の出廻はるべき時期と相成候得共天候不良の爲め收獲後れ未た徐々の有樣日々四五百石位市場に現はれ居申候今後十日も經せは相當なる聚荷を見るべきかと存居申候粕は不相變十一兩四匁を動き不申市場に豐富なる現物を視る迄は下降の模樣も觀へ不申候大豆は新豆上等物九兩四匁の唱へに御座候本年は漢口大豆も作柄上好なるが爲に南清には漢口大豆出廻り居る由にて南清商人は八兩二三匁迄下降せされは不引合を唱へ一向先物の商も無之候何れ十日後位には面白き市場の變動も有之事と存居申候（九月末日東和公司報）

**●昨今の運賃狀況**　九月三十日東和公司報告に據れは運賃は昨今一定の標準を得さるも日本よりの來電によれば橫濱十四五錢を唱へ居るも現今契約せられつゝある運賃は橫濱揚十三錢神戶十錢門司當港揚石炭一噸一圓六十錢唐津一圓八十錢見當に御座候南淸行は大豆高價の爲め不引合にて輸出者無の有樣に御座候沿岸航路は徐々に出稼苦力を原籍地に引揚時期と相成比較的好調にて天津行一人一圓六十錢芝罘行一人一圓龍口行一人一圓八十錢位にて每船往復八九百名の乘船者有之候安東縣營口材木一連一圓六十錢安東縣芝罘の山繭一梱一兩の相場に御座候云々

**●安東縣最近商狀**　東和公司店員の報する所に據れは安東縣の商範圍は何人も知る如く朝鮮及鴨綠江河岸の少部分の地方なるも昨今物產の多額なるは驚くべき程にして材木、山繭、大豆、高粱其他數ふへからず大豆は目下一年の聚來額日本石數五十万石を出さる可く愈々輸出の發達に從ふて其倍額に達するは數年を出さるへく近き將來に於て最も重要なる地點となるへし云々尚ほ本年山繭の產額は豐富にして結氷期迄に同港より芝罘へ輸出すへき斤數約三百万斤以上あるへしといふ

**●銀貨公定價格**　都督府の歲入歲出に關する銀の公定價格は去六日より銀一圓に付金一圓三錢に改められたり

**●爲替貯金取扱高**　都督府管內郵便電信局にて去八月中に取扱ひたる郵便爲替は振出三万八千百三十一（金額九十三万四千五百六十六圓）拂渡六千六百六十四（金額三十万五千五百八十圓）にして貯金は預入一万七千八百七十五口（金額三十二万七千三百八十五圓）拂戾五千八百七十六口（金額十三萬六千五百四十八圓）新規預入人員千四百四十六口なりしといふ

**●奉天居牛場の賣渡價格**　奉天居牛場は邦人の經營に係り今春淸國官憲に賣渡し淸國の官憲事業に歸せしむる都合なりしに賣渡價格不折合の爲め其儘となりをりしが近日又々交涉を開始し三千圓の價格にて愈々賣渡すとなしたる由なれとも未た淸國官憲間の商議整はず其運ひに至らすと云ふ

**●長岡農事試驗場長來營**　都督府農事試驗場長長岡堯氏は滿洲に於ける農況調査の爲奉天遼陽方面の視察中なりしが昨夕當地に入り淸林館へ投宿せり二三日滯留の筈

**●犬塚滿鐵理事の言責**　滿鐵の埠頭荷役につき犬塚理事或人に放言して云く、今后荷役從事者が荷主に對して故意に不親切な取扱ひをなして損害を及ぼし若くは賄賂を促すが如き行動あらんには會社は斷じて之が處分を躊躇せざるべし云々、當事者にして此言あり荷主はやゝ安心して可なるべし

### 筆魔墨魔

▲外務省では移民地方に於る領事の大更迭を斷行して少しは骨のある蠻ガラ先生タチを赴任さす方針だといふ噂があるが眞僞は知らぬ▲或人が山座政務局長を訪問して御杯拜受の御祝を述べたら、イヤ今度は御上から大酒の御許が出たから之程雖有いとはないと不相替の酒氣焔万丈であつたそうだ▲高橋是淸氏の動一等に就て彼是の取沙汰して外債募集當時に莫大のコンミッションを取つて居るとて攻撃の矢を放つてる連中があると万朝の机の塵に皮肉な批評が出てあつた▲併し高橋氏は万朝子が云ふやうな卑劣な男ではない、氏が外債募集の爲に盡した功勞は國民が長へに忘るべからざることであるとは當地某高官の談▲日銀の松尾總裁、高橋副總裁か授爵せられたのに對し局長以下か無駄骨折のやうに沙上の偶語をしてるそうだが、して見ると彼等は君國の爲に働いたのではないと見える、特に授爵叙勳に就て彼是非難するのは僭上の沙汰てある▲駐日露公使の考古趣味はなか〱深いもので、其書齋には阿彌陀の佛像を置き壁には西班牙伊太利の古劍を懸け、日本刀も數振を飾つて卓上には銅羅金鼓の類をならべて喜んで居るそうだ▲同公使は日本の山光水美を非常に愛し、日光と京都は何うしても忘れられないと頻りに日本趣味を吹聽して愛嬌を撒いてるとはなか〱に如才のない好外交官である

□三井物產の訓令（重役一本まゐらる）　歐羅巴へ行くには西比利亞から行く方が時間が短縮して經費も安くあがるからといふので三井物產會社では歐洲へ派遣する社員は總て西比利亞を通行せしむること決して此旨社員へ訓令した、スルト硬骨な社員は重役はどんな行程をとられますと伺ひましたので流石の益田孝クンもギヤフンと參つたそうだ

## 雜報

**●清國學生の通過**　既報の如く在保定府陸軍大學堂學生八十餘名は滿洲戰跡視察の爲…

**●支那官憲の馬車徴發**　長春にては目下支那兵舍の建築材料品運搬の爲め多數の馬車を要するより支那官憲は特は兵を派して…等は孰れも非常の迷惑と損害を蒙りつゝありといふ

**●古相撲今日の取組**は左の如し（上州山…左倉川…勝…）

**●廣告訂正**　營口青年倶樂部寄附者芳名中次の二名は誤植につき三島康太郎殿は三島廣太郎殿新井實殿は新井實殿と訂正す

**●訂正**　昨紙三面中挾紳士見立中、瀬川領…

**天氣豫報**　自八日午後六時至九日午後六時　營口地方　南の風はれ

…が昨日午前九時發汽車にて旅順に向け出發せり引率者は參官守永中村兩大尉なり
…車も遂に支那官憲の徵發に遭ひ馬車の拂底甚しく日限りの工事を請負へる請負業者
(大連)挑山　碇　琴ノ浦　有知山　朝日潟　高根松　大林
…聞の廣告面にあつた見ては目を通じの何れも誤校
大連　南の風曇り　奉天　南の風晴れ　最低六一、〇　高二三、六

特別廣告

**郵便局移轉**

當局及小包分室共來ル十一日
正午十二時ヲ以テ永世街舊郵便局官舍跡(舊巡警總局向フ角現在當局裏門ヨリ約二丁半西)ニ移轉ス

明治四十年十月九日
牛莊郵便局

## 講談　假名太閤記　(第七十八席)

松林伯知口演

秀吉公には莞爾笑み給ひて座に着かれ　秀「ヤア是は淀、相變らず美しい事ぢやな、何うぢや若は　淀「ハイ、若樣は御むづかりにて在らせられまする、上樣が昨夜も成らせられませぬ故……秀「オウ昨夜は朝鮮の事心に掛り夜と共に軍議を凝せし故、夫れゆゑ見えぬてあつた、若を抱き居らうか　淀「どうぞ御抱き遊ばして……」秀「左樣か」と秀吉公は老いて儲け給ひし當歳の秀頼公を淀殿より受取つて御膝の上へ載せ給へば、若君には御むづかりもなく殿下の御顏を見てニコ〳〵御笑ひなさる其愛らしさ、大閤程の御方だが此時には顏の恰好を崩して　秀「オウ宜い兒ぢや、愛らしの若よ」と若君に見取れて他愛がない、すると淀殿は如何やしけん殿下の御顏を見上げてホロリ涙を零した、秀吉公ヒヨイと氣が付いて　秀「コレ淀、其方は何て涙を浮べつるぞ何が悲しうて泣くか」仰せに淀殿は涙を拂ひ　淀「へイ、麗はしき和子樣、此度は御虫氣もなく御生長、御醫師の申するにも此度は和子樣ばかりは乾度御無事に御生長遊ばせとの事てムいまする、なれど如何に御無事に御生長遊ばせばとて、悲しき日影の御身にて終はらせらるゝ事かと思ひますれば、只もう夫れが涙の種にムいまする……」言ひつゝ又サメ〳〵と泣出した、秀吉公聞き給ひて意外に思召し　秀「コレ〳〵何を申す、和子が日影の身とは夫れは何ぢや、此和子は秀吉の子ぢや、日影の身などになる可き譯はないわ、殊に前田も居れば德川も居る……」淀「イエ左樣仰せられまするなれど、前田樣は無二の御味方、御爲になる方とは云へ德川樣は如何あるべきか御心の底は計り難く若樣の爲には害になるも御爲の程はどうあらうか、夫れも上樣御存生中は何もムいませねど、此度の戰爭は深く御心を勞させ給ふ御身てはあるし、只もう先きが案じられてなりませぬ、夫れは夫れとして今聚樂に在はす新關白樣、あの御方の御身に取れば定めて和子樣を御邪魔に御召す事てムいませう、新關白さへなき事なら和子樣は天下の御跡目に直らせらるゝ御身てあるものを……」と言ひながら又もワツとばかりに泣出して、實に淀殿は秀吉公に向ふて泣くのが上手、美人の涙程畏ろしきものはムいませぬ、器量萬人に優れし秀吉公も此涙の爲には何時でも面喰つて仕舞ふ、今も今とて淀殿の一言を聞き給ひて　秀「ヤア淀、泣いて呉れるな、其儀なら決して心配致すには及ばぬ、今日も三成が申したが、どうも此頃新關白の行狀宜しからぬ由、次第に依れば彼も朝鮮へ遣はすやうな事にてもせんければならぬと思つて居る、其内に何とか處置を付けるから安心して居れ」とイヤもふ心を色にも見せず　淀「偖は上樣には聞し召されましたか、實に新關白の御行狀は夫れは〳〵宜しくないと云ふことて、畏には田舍女を捕へて無慘にも其腹の兒を取らんとし給ひし事もあり、又已れの心に從はぬとあつて利久の姪に當る女を其良人と共に殺せし事もあり日々淫酒に耽けらせられて容易ならざる御行狀との事も承知致しました、此儘に致し置きなば何んな事に相成りまするか、上樣にも能う此事御心に留められてと、淀殿は例の聚樂へ間者として入れ置いたるわやと云ふ婦人より知らせて來た秀次公の亂暴な行ひを、夫れとなく秀吉公の御耳へ入れた、そうして又サメ〳〵と泣出したるは實に巧の婦人てございます

## ●營口に入るの記(四)

美乙女は天然の美質を備へ、擧措艶曲にして、性も亦雅麗てある。此の寂び行く漁村の界隈ては稀に見らるゝ標致てある、貞嬌は天性好かるゝ持德なのてある。ちやん〳〵と人に呼ばれて、笑顏に作る愛

斯くて此の田舍娘は僕を叮嚀に見舞ふて呉るゝのてあつた。物の卅分位は僕の枕頭に座はり、四方山の話をして僕の病苦を慰めて呉れたが偖て還ると言ふ時に、前手にして居た一冊の書籍を僕の手に與へて幽然と辭し去つた。

一冊の書籍！果して何だらう。即はち病苦を慰むるが爲めに置いて去つた一冊の書籍は『柳生飛彈守』といふ講談本なので僕は實に詰らぬものを持つて來たと心に邪魔臭く思ふのてあつたか、不圖取り上げて、讀むとは無しに頁を繰つて居ると、何時しか四十頁、五十頁と段々進んで九時頃迄には遂に全巻を悉したのてある。

讀み終つた僕は暗然眼を閉ぢて、靜かに思索に耽けるのである。冷汗の下るもの瀧の如く床を濕ほした。其夜は眠つた。一日は過ぎた。昂熱は下つた。二日が過ぎた。昂熱は下つた、三日が過ぎた。全く昂熱が退いた。而して五日が過ぎ、十日が過ぎ漸やく爰に前日の病苦を全く忘れた。

さあ是れから支那行てある。早速行李を纏めて旅裝を整へに掛つた。心は既に遼東の空に飛んて、萬感交々馳せ臻り、彼れや是れやと行路の前程を揣摩するのてあつた。徐ろに考へ來つて見る。乙女が貸して呉れた一冊の講談本。而り眇たる一冊の講談本！僕は是に縁つて多少人生の眞諦を開拓し得た。

書中の要槪は即はち這うである。

『切り結ぶ太刀の下こそ地獄なり
身を捨てゝこそ浮む瀨もあれ』

嗚呼此の一篇痛快の古歌！眞に金鉄を碎く僕は病苦を忘れ、自らを忘れ、遂に人生と客觀視して其立脚すべき本據を覺り、憮然として前途の峻嶮を念へば、更に前よりも冷たき汗は容捨なく背を流るゝのてある。

翌日僕は神戸に向つて出發した。(留川)

## ●龍首山の夕暮(下)

夜寒の風も次第に身に浸み渡り名も知れぬ虫の聲々もあはれに繁く聞ゆる折柄、娘は涙を拂ひて懷より取出す一封の手紙、月の光に開いて、可愛そうに妹かと獨り言しつゝ切々に讀み初めぬ

戀しい姉樣妾共はもう母樣もない哀れの身となりましたお母樣の御病氣は腦貧血とやら三日程床について居られました姉樣今となつて悔みましても致方は御座いませぬ母樣の御壽命は定まつて居たのです妾は一日も早く姉樣の御歸りを待ちまする、何卒姉樣一日も早く歸つて頂戴よ

と語は絕えぬ邊り靜かにして唯涙に咽ぶ聲あるのみ軈て復た手紙をとりて

お母樣のちようど息を引取る前靜ちやんと妾の手を握りて姉樣は若い時より非常に難儀をしたのも悉皆家の爲めなれば母樣が亡くなつても決して姉樣を粗末にしてはなりませんと嗚呼姉樣にすまない〳〵と言葉も切れ〳〵に其儘眠られましたのも妾は唯姉樣ばかしが賴りてす

なつかしき母樣は何故亡くなりしにや殘りし一人の妹の無心細く暮らし居らるゝならん、いぢらしのことよとて手紙を顏に押し當てゝ聲を惜まず泣き叫びしが稍あつて如何に嘆けばとて歸らぬことなれば夫れよりか一日も早く前借を返して國へ戻らん、さうよ〳〵と手早に亂れし髮を梳り涙拭ひて元來し方を辿り行けば月光益冴えて虫の音高く秋深かりき

## ●大相撲六日目の勝負

勸進元千勝館主の注意行屆き八百長相撲無なりて面白き勝負を見るに至れり綾川、土州山は立上り双方共烈しく突合綾直烈しく突貫を試みしも敵得たりと對へるを綾一本セヨイにて勝は實に見事な勝負なり▲西昇、今錦は當日の好取組なれば呼出の聲聞ゆるや滿場破るか如く双化粧立ち數回清く仕切立となる双方烈しく突合ひ左四つに渡るや今寄身、西小手投打、今巧に殘る今寄切らんとするを西上手投を打今殘り素早く二本差に一氣に寄切らんとするを西の上手投け見事にきまる▲勝時、高根松は立上り双方突合ふ内高根腰くだけるを時すかさず突倒して勝▲朝日潟、手柄山は立合一寸突合左四つ手柄の掬ひ投打しも敵に對へず寄切て朝日の勝は久し振り▲鳴戸岩、いはい烈しく突手を鳴戸は突き込に敵あぶなく立直る右四つとなるい一氣に寄切らんとするを鳴戸の上手投美事きまる▲小綠、琴ノ浦は綠二本差琴カンヌキにシボル琴の寄み綠り下手投に防ぐ水入となり後綠の寄み琴あぶなく土俵キワに對へしを綠下手投打ち琴殘り遂に引分となる綠小俵にして實に美事な取口なり▲中入後、荒木山、加古川は加古の左差荒木强引の泉川にきめ出さんとする加古掛足を防ぐ觸て左四つ加古の寄はな下手投にて荒の勝▲大碇、鳳は鳳一押に押出とするを碇はき込て勝▲大林、有知山は林の突手有トツタリ打林泳き立直り左四つ林の肩すかし有知巧に殘りとけて有の押鼻を林ヘキ込有知土俵キワに殘り立直らんとするを林首割を掛け突倒して林の勝、打出午後九時三十分

## ●大相撲勝星表

大連大相撲六日間の勝星表は左の如し但○は勝星△は預り×は引分の印

| 方 | 力士 | 星 | 對戰 |
| --- | --- | --- | --- |
| 東の方 | 琴ノ浦 | ○○○○×× | 大碇　西昇　朝日潟　高根松　有知山　小綠 |
| 東の方 | い | ○○○○ | 勝時　手柄山　左倉川　朝日潟　高根松　鳴戸岩 |
| 東の方 | 小綠 | ○×○△○ | 今錦　大碇　大林　有知山　鳳　琴ノ浦 |
| 東の方 | 鳴門岩 | ○○○○ | 大林　有知山　土州山　大碇　左倉川　い |
| 東の方 | 高根松 | ○○ | 綾川　大林　加古川　琴ノ浦　い　勝時　朝日潟 |
| 東の方 | 鳳 | ○○△ | 有知山　朝日潟　西昇　綾川　小綠　大碇 |
| 東の方 | 左倉川 | ○○○ | 朝日潟　加古川　大碇　土州山　鳴戸岩　清見嶽 |
| 東の方 | 今錦 | ○○○ | 小綠　綾川　有知山　清見嶽　手柄山　西昇 |
| 西の方 | 大林 | ○○○△○ | 鳴戸岩　高根松　小綠　西昇　大碇　有知山 |
| 西の方 | 有知山 | ×○○○○ | 鳳　鳴戸岩　今錦　小綠　琴ノ浦　大林 |
| 西の方 | 朝日潟 | ○○ | 左倉川　鳳　琴ノ浦　い　西昇　手柄山 |
| 西の方 | 大碇 | ○○ | 琴ノ浦　荒木山　左倉川　鳴戸岩　大林　鳳 |
| 西の方 | 手柄山 | ○○○ | 荒木山　い　濱ケ崎　綠川　今錦　朝日潟 |
| 西の方 | 勝時 | ○△○○ | い　荒木山　綾川　加古川　清見嶽　高根松 |
| 西の方 | 綾川 | ○△○○ | 高根松　今錦　勝時　鳳　加古川　土州山 |
| 西の方 | 西昇 | ○○○○ | 加古川　琴ノ浦　鳳　大林　朝日潟　今錦 |

## ●大相撲七日目の勝負

大連大相撲七日目の勝負は左の如し

| 勝 | | 負 | 勝 | | 負 |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 釼石 | (くびなげ) | 有明 | 信乃川 | (つりだし) | 增井川 |
| 綠川 | (うはてなげ) | 藤渡 | 荒木山 | (あびせかけ) | 土州山 |
| 鳳 | (はたきこみ) | 加古川 | 鳴戸岩 | (つきたをし) | 手柄山 |
| 今錦 | (よりたをし) | 大碇 | 綾川 | (とつたり) | 清見嶽 |
| 西昇 | (とつたり) | い | 大林 | (すくひなげ) | 左倉川 |
| 中入後 | | | | | |
| 有知山 | (つりだし) | 高根山 | 小綠 | (したてなげ) | 朝日潟 |

## ●遼河の舟遊會

去る日曜日弊社の止戈生其他の發起にて船を遼河に泛べ兩岸の秋色を賞し併せて水源地を一見せばやとて前日より同志の勸誘に怠りなく同意者は總て其夫人を帶同せしめて一日の淸興を內君にも分たんとの主旨なりしも晩來天候險惡なりし爲延期するに決定したるが翌日曜朝に至り議一轉して斷行するに決し急に電話を以て其れ其れ通告に及びしも餘りの急迫に來會者尠く殊に御夫人連は領事館各夫人內田夫人松井夫人の如き參會せられざりしは遺憾なりき船は午前十時東稅關前より抜錨せりさて參着者はと見れば領事館の石原嶋田兩君稅關の黑澤君松茂の櫻井君水道の天春鈴木兩夫婦長谷川技師松井君其他數員及び弊社の泥牛、佐藤、止戈外に紅裙三位其筆頭はおあさ女豪なり此日潮信險惡にして舟行遲々たり人を吹き倒うす程の强風にも恐れず小宴は早くも甲板上に開かれ歡聲高く沸き戲謔百出し近藤泥牛君は能く酒を飲むへしとの問に或人が泥牛とは牛飲泥醉の意なりと答へしは即妙にして水道と稅關との腕推しに黑澤君が奇聲を發して不可及を嘆せしは奇觀なり午後二時水源地に到着盛宴は直に事務所內に開かれ美酒佳肴泉の如く山の如く水道社員の琵琶劍舞の餘興に愈々興を添へ天春君の妙喉にさしもの强風も鎭靜に歸せんとせり宴終りて曾我工學士の說明にて普く工事を觀て後一同撮影し五時乘船七時半頃歸營せり歸路の舟興は往路に彌增して彼處に小宴を開ける一團あれば此處に滿洲經營を論する小群あり一として歡ならさるなく興ならざるなかりしも天春君の獨々逸講義泥牛君の泥眠(其實筆魔墨魔の材料を聽かん爲めの假眠)島田君の秀貌におあさ女史の素人然たる取持よ頗る偉觀なりき記者は今に始めぬ事ながら茲に水道會社の厚意歡待を一同に代りて謝す猶水源地工事の現况に就きては較々領解せし所あれば他日更に記すとあるべし

吳服
太物
洋反物
チール類
メリヤス
綿花
其他
一式
冬物荷揃
大連市浪速町
塩久吳服店
(電話二二三番)

●鐵嶺に於ける孤兒音樂隊　奉天に於て非常なる好評を得たる岡山孤兒院孤兒音樂隊並に同活動寫眞は鐵嶺に赴きて去る三日より三日間西門外にて演奏したる由

●滿洲のちり　▲安東開花樓の愛吉(一七)は市場通りの或洋行のハイカラ番頭と淺からぬ仲となり近々根引の相談まで漕ぎ付けたれば朋輩扨ては國元までへも吹聽して大に喜び居たるに越中褌の失れならでカラりと外れて鬱ぎ居る由▲大連信濃町豐縫次郎は常陸町石井勝造より雜貨五十圓を借入れて行方を晦まし又浪速町四丁目牛田方の澤木一郎(二五)は大山通り福榮洋行より小室鉄次郎に支拂ふべき金五十圓を預りし儘何れへかドロンを極め込みたり▲遼陽同地の花柳界も例の如く不景氣なれば酌婦連は某々宿舍を目掛けて夜襲を試むるもの甚だ多しと

●頭道溝の露賊　先月三十日午前十時頃、頭道溝舊長春館前にて時ならぬ銃聲聞えしかば交涉局の巡捕は何事ならんと駈付けしに馬車に乘れる二名の露人ピストルを以て支那人二名を脅迫し銀七十余元を掠奪し去りたる跡なれば直に手配して追擊し遂に兩名を捕縛して銀元を取戾し兇漢は之を露國領事館に引渡したる由因に云ふ被害者は哈爾賓銀行員にして加害者は同地より附け狙ひ來りし者なりと

## 投書かご

（たくさんほしい）

▲議論を以て押通そうのは未だ年の若い證據である談笑の間に決するの器量が無くてはならぬ(大悟子)▲小學校生徒「學び屋へ通ふをさな兒が時の鏡とぎとげ後の世の爲め」(一少女)▲衞生上頭髮を淸潔にするは必要なれども男子にして長髮に香油を付け恰も婦人が時々帶を撫て廻す如く屢手を以て頭髮の亂れざる樣注意し常に頭髮に浮身を窶す者は慨して成功する人間でない(志書生)▲鐵嶺万安の淸子は戀しい〳〵何橋とやらに逢ひて病氣が急に直つたとは目出たし〳〵(實見子)▲東邦亭のお多勢は血あり涙あり將來有望の女だ(一　客)▲鐵嶺醉花園は主人も好人物而して美形も大分揃つて居るから不景氣知らずと云はるゝも無理はない(同　生)▲双廟子の銀緣眼鏡てスマシ屋のハイカラと鐵昌圖松川屋の濱子とは切つても切れぬ深い仲近々新世帶とは羨しいね(振ラレ生)▲靜かな晚に女の下駄の音がカラコロと聞えると其主は下婢か老婆か醜婦か分らねど何所となくいゝものだ(せいちやん)▲鐵嶺平本洋行の主人に申す僕は先達の眼鏡て平降した(注意生)▲公主嶺支那町の九州館秀子は元四平街で一芝居せんと企てしも情夫のあるを見付けられて成功せず今亦何か目論見て居る劍呑々々(地　廻)▲松月のお玉は小山と云ふ人に根引せられたアナ醜婦を去りとは世の中に茶人も有れば有る者だ(近所人)▲牛家屯の關樣へ「戀の果敢なき身に浸みて振り亂したる黑髮の、今宵の霜に染まるとも、待ちゝ待つぞよ、何時までも(東邦亭年子)▲僕は昨晚祇園閣のお濱ねいさんを拜んだあれが營口第二番の美人とは驚いたよ悍り乍ら僕の家の下女の方が餘程美人だぞ(アキレタ生)▲小說などを讀みながら笑ふ人電話でお辭儀する人、チクオン器をヤヂる人活動寫眞を囃す人等は好一對てある(空蟬)

めうがや製
東京足袋
盛進商行
(電話二〇番)

特別廣告
牛莊郵便局爲替貯金
金銀受拂相場　十月六日ヨリ十月十二日迄
軍票又ハ圓銀壹圓ニ付　本邦通貨　金壹圓〇三錢六厘
電話問合ヲ謝絕ス

●大演習と陪覽希望者　今般の大演習には駐在各國武官中一個國にて多きは八九名少きは二三名の陪覽希望者あり清韓其他よりも多數渡來す(八時午後五時東京)

廣告主へ御用の節は滿洲日報にて見しと御申添被下度

## 營口出帆廣告

**日本郵船會社瀛船出帆**

相模丸 十月九日午后一時太沽芝罘長崎門司神戸行
御乘客同日午前十一時迄に御乘込相成度候

酒田丸 十五日未明出帆大連門司神戸横濱行
御乘客は前晩六時迄に御乘込相成度候

竹島丸 十八日午前六時出帆大沽芝罘門司神戸行
御乘客は前晩六時迄に御乘込相成度候

（乘船切符發賣ハ出帆前三時間迄 未明出港ノ分ハ前日午後五時迄）

營口代理店 旗昌洋行（電話二六番）

**瀛船營口出帆**

摩耶山丸（十一日入港豫定）
賴朝丸（十六日入港豫定）
音羽丸（十九日入港豫定）
御代丸 十月十二日入港豫定
福陽丸 九日入港

松茂洋行 電話（五二、五七）

**瀛船出帆廣告**

長柄丸（營口天津間定期）
萬成源丸（營口芝罘天津間定期）
第二生田丸 近日入港

代理店 東和公司（電話四一〇番）

## 大連出帆廣告

**日本郵船會社瀛船出帆**

薩摩丸 十八日長崎行
大棧橋より發船可致候（電話貳壹〇番）
日本郵船株式會社大連出張所

**大阪商船會社瀛船出帆**

天草丸 十二日正午門司神戸大阪行
信濃川丸 十日午后七時仁川長崎行
大棧橋より發船可致候（電話貳貳零番）
大阪商船株式會社大連出張所

**松茂洋行船舶部 瀛船出帆**

賴朝丸 十五日午後四時營口行
音羽丸 十八日午後四時營口行
乘船切符は吉野町大山通り角〇ト運送店にて發賣可致候
大連市監部通り二丁目（電話二五九番）
河邊商店大連出張所松茂洋行

## 橫濱正金銀行

資本金貳千四百萬圓
積立金壹千五百零五萬圓

本店 横濱
支店出張所 神戸 東京 長崎 大阪 倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港 上海 漢口 天津 北京 大連 旅順 奉天 遼陽 芝罘 鐵嶺 安東縣 長春 寬城子

牛莊支店 電話十番（支配人室）（百八番事務室）

## 正隆銀行

營口元神廟街二八六
電話（支配人室三四一 事務室二一〇）

## 隆記洋行

總經理人 深水十八
西分店 西營口老爺閣東小紅樓西南側 電話 四二

---

## 御料理 觀看樓

旅順乙笠町

## 專業旅館 東京樓

營口乘車乘船最良の位置（電話一八七）
間數四十餘以上は規定宿料外格安勉强割引可仕候高等御下宿は面議廉價御賄可申上候

## 廣告

川上果太郎
木村熊太郎
石丸喜代造

右解雇候に付爾來當組に關係無之此段廣告候也

月 日 吉川組

## 遼東病院

▲診察ノ上入院隨意
▲入院料 自金壹圓五拾錢 至金 圓
旅順八島町貳番地（郵便局隣）
院長 今村春逸

## 高等旅館 松華ホテル

鐵嶺西門外火神廟

## 高等旅館 磐城ホテル

大連市磐城町（電話壹六七）

## 舶來雜貨

盛進商行
牛莊新市街（電話二十番）
振替貯金口座一〇一九〇番

貴婦人用肩掛
東都之流行
ピン各種
紳士用首卷

## 森病院

內科 外科 產婦人科 齒科（入院隨時）
電話一五三
鐵嶺

## 東瀛大藥房

純良醫藥 工業藥品 著名賣藥 醫料器械 卸小賣
營口永世街 電話一四八番 振替貯金七〇一番
藥劑士 中馬龍造 中馬藥局
分店 營口新市街本町一丁目 營口永世街（通順泰東）

## 機械製煉瓦石發賣

弊製造所義兼而「コルニシユ」式素地型成機械並に嶄新なる素地乾燥室建設中の所去月下旬竣工本月一日より全機械力に依り製造室內の乾燥に着手仕候所換期に異なり製出の煉瓦石は形狀方正表面滑澤にして裝飾用として頗る高尙優美品質一級密耐壓力强靭吸水量僅少に候故土木建築用として適品と確信仕候得共尙實物御一覽の上御高評を相願度先は右御披露迄

營口牛家屯（電話二四二）
販賣所 營口元神廟街（電話一三五） 泰東公司
營口煉瓦製造所

## 和洋諸紙卸商

合 渡邊 大連支店 大連市伊勢町四十三號地

## 三井物產合名會社大連出張所

本店 東京市日本橋區駿河町壹番地

本店及出張所所在地
倫敦、漢堡、紐育、桑港、孟買、瓜哇、新嘉坡、蘭貢、甲谷他、磐谷、馬尼刺、シドニー、香港、厦門、福洲、汕頭、臺北、臺南、廣東、青島、上海、漢口、芝罘、京城、仁川、安東縣、北京、天津、牛莊、奉天、鐵嶺、寬城子、及內地各要所

大連山縣通百三十一番地 電話番號（四百六十番 百七十五番）

營業科目
販賣部 大豆、豆粕、棉糸布、木材、石炭、セメント、煉瓦、麻袋、麥粉、砂糖、亞鉛板、諸器機、各種金物、建築材料、其他內外國製品及原料販賣
倉庫部 當倉庫預證券（火災保險ヲ付シタルモノ）を所持せらるゝ方は當地正金銀行にて金融に應ぜらるべき便宜あり
保險部 明治火災 東京海上 保險會社大連代理店

---

## 專業御旅館 清林館

開業以來の御高評に背かざる樣何事も益誠實に御客樣の御便利を計り極めて丁重に御扱ひ致御宿泊料の如き出來得る限り勉强可仕候間何卒特別の御贔負偏に奉希上候敬白

營口新市街南本街 清林館（電話三〇一番）

## 新築二階建

生そば 精肉かしわ すきやき 天・麩羅
鐵嶺西門外 日鐵

## 旅館 大和館

永世街第三十四號（電話壹壹三番）
店主 前田丸一郎

## 新荷廣告

○○大塊石炭及無煙炭
○○亞鉛板及洋釘
○○セメント
○○木炭
○○日本白米
○○消石灰

右各種は弊店雇船音羽丸にて今回到着廉價販賣致候殊に無煙炭は火力强大普通石炭の參倍余の耐久力を有し室內を汚染せず煙筒掃除の必要なし平經濟的に候市內は御注文次第多少に不拘配達可致候

材木商 營口 喜久洋行（電話三一四）

## 鐵嶺 高砂ホテル

## 機器鐵廠 川喜鐵工所

營口後定門街 電話二〇四番

## 土木建築請負

煉瓦、石灰、石材及び各種建築材料
各地出張所所在地 ●大連 ●長春 ●公主嶺 ●鐵嶺 ●湯崗 ●奉天 ●張臺子 ●千金寨 ●遼陽 ●廍家店
營口 飯塚工程局（電話六五）

## 眞正大島紬

現品並ニ見本三百餘種
一元祖薩摩大島直仕入
一見本御一覽ノ上縞柄等ハ速ニ新製取寄可仕候
一特約販賣御希望者モ御座候ハヾ御相談可仕候
大連市信濃町入通 全江口公司
織元出張販賣所 米穀酒類食料品卸商

## 一般患者ノ診療ニ應ズ

（往診入院隨意）
院長醫學士 松井萬四郎
新市街實來街 營口同仁醫院
電話番號（七八番事務室 一七一番病室）

## 冬品揃 三週年賣出し

今回祝意の爲め……
十月五日より十五日迄冬着賣出安賣は元より又々奕飛の大安賣瓦斯地丈は壹反に付特に金七拾五錢期間日中販賣仕餘興として福引仕候間何卒御來車の程奉待上候

景品目次
天、朱珍廣帶 壹本
地、濱縮緬小紋 壹反
人、御召縮緬 壹反
外に絹布及綿布數百反

福引券は金參圓毎に壹葉を呈し直に改札景品引換可申候但し福引券は無景籤壹本も無之候

營口木村呉服店（電八八番）

## 日本旅館

營口新市街千代田街
專業旅館並に高等下宿
店主 三野傳藏（電話一三〇）

## 大連彩票賣出

頭彩壹萬圓
第二十四次 大連彩票賣出
開彩十月二十六日
裕和盛（電話八壹）

# 物價

**營口爲替相場** 十月八日

正金銀行一覽拂（百圓ニ付）
- 內地　一〇二圓四分ノ三
- 天津　一〇三圓四分ノ三
- 上海　七一兩
- 芝罘　一〇四圓四分ノ一
- 銀塊相場　三十片十六分ノ七

**同通貨相場**

正隆銀行　受　拂
- 銀貨（百圓）軍票　八九、五〇　九一、〇〇
- 金貨（圓）軍票　九六、五〇　九八、一〇
- 「ルーブル」ト軍票　九九、一〇　一〇〇、六〇
- 營銀ト軍票　一〇四、一〇　一〇五、六〇

**▲營口物價▼**

●石炭類（喜久洋行）軍票標準
- 赤阪口上塊炭　一噸　一二、五〇
- 福井粉炭　全　一七、〇〇
- 無煙炭　百斤　[illegible]
- 水炭　八貫入一俵　[illegible]

●亞鉛引板類
- 浪板廿八番六尺　一枚　[illegible]
- 全　七尺　全　[illegible]
- 全　八尺　全　[illegible]
- 平板全　全　[illegible]

●洋釘類
- 一インチ百斤　[illegible]
- 一インチ二分五厘　全　[illegible]
- 一インチ半　全　[illegible]
- 一インチ七分五厘　全　[illegible]
- 二インチ　全　[illegible]
- 二インチ半　全　[illegible]
- 三インチ以上　全　[illegible]

●穀類
- 肥後一等白米　壹石　二三、〇〇（市內配達は若力設中受候）

（新市街加藤洋行調）
- 英國製中折帽　（四、五〇〇〜八、〇〇〇）
- 黑山高帽子　（四、〇〇〇〜六、〇〇〇）
- 鳥打帽子　（八〇〇〜二、〇〇〇）
- ラクダ毛防寒帽　（一、五〇〇〜三、〇〇〇）
- ラッコ毛皮帽　（五、〇〇〇〜三〇、〇〇〇）
- スコッチ靴下　打　（四、〇〇〇〜一〇、〇〇〇）
- 全　長靴下　全　（一〇、〇〇〇〜三、〇〇〇）
- カシメン手袋　全　（三、〇〇〇〜八、〇〇〇）
- スコッチ手袋　全　（四、〇〇〇〜八、〇〇〇）
- 皮手袋　全　（二、〇〇〇〜四、〇〇〇）
- 獨乙製毛メリヤス上下組　（三、五〇〇〜六、〇〇〇）
- 全　ジヤケツ　全　（四、〇〇〇〜五、〇〇〇）
- 舶來毛メリヤス全　（四、〇〇〇〜六、〇〇〇）
- 白毛布　二枚綴　（二、〇〇〇〜一、〇〇〇）
- 色全　全　（二、〇〇〇〜六、〇〇〇）
- 舶來綿全模様入　（三、五〇〇〜一、〇〇〇）
- ネル地膝掛　（五、〇〇〇〜一、〇〇〇）
- ラクダ膝掛　（五、〇〇〇〜七、〇〇〇）
- セヘル　（四、〇〇〇〜一、〇〇〇）
- 羽根蒲團　（八、〇〇〇〜一、〇〇〇）
- 全　繻子地　（三、〇〇〇〜二、〇〇〇）
- クッション　（二、〇〇〇〜五、〇〇〇）

●木材相場
- 杉丸太一丈（末口才）　五五
- 全　二間（全）　六〇
- 全　三間全　七〇
- 松丸太一丈二寸（全）　五〇
- 杉押角一丈二間（全）　六五
- 杉板四分（一坪）　一、一〇〇
- 全　大分（全）　一、三〇〇
- 全　八分（全）　一、八〇〇
- 樅板六分（全）　一、二〇〇
- 全　八分（全）　一、七〇〇
- 全　正一寸（全）　二、一〇〇
- 樅板四分（一坪）　一、〇〇〇
- 全　八分（全）　一、五〇〇
- 栂板全（全）　同
- 杉入角物（一石）　七〇、〇〇〇
- 松角（全）　六五、〇〇〇
- 山陰檜（全）　六〇、〇〇〇斷

- 北海松（全）　五、〇〇〇
- 杉貫大（十枚）　二、六〇〇
- 全　中（全）　二、〇〇〇
- 松垂木（一肩）　一、七〇〇
- 全　正角（全）　二、二〇〇

●注意　以上は重物を標準としたる價格なり

（新市街見本洋行）
- 美濃紙大印（一〆）　七、〇〇〇
- 全　松印　六、五〇〇
- 全　竹印　六、〇〇〇
- 全　梅印　五、五〇〇
- 改良半紙大印　三、五〇〇
- 全　金印　三、三〇〇
- 全　銀印　三、一〇〇
- 全　福印　二、四〇〇
- 全　生漉半紙上　四、〇〇〇
- 全　並　三、五〇〇
- 六寸半切大印　三、〇〇〇
- 全　金印　二、三〇〇
- 全　鶴印　二、六〇〇
- 大七九紙生漉松印　一、七〇〇
- 七九全　竹印　一、四〇〇
- 全　梅印　一、二〇〇
- 壓紙生漉上　一、六〇〇
- 全　中　一、五〇〇
- 障子紙（一束三百）　三、五〇〇
- 越前奉書（一束百八十枚）　一〇、〇〇〇
- 四ノ內（全）　四、三〇〇
- 中（全）　四、八〇〇
- 仙花（一束六百枚）　四、〇〇〇
- 美濃罫紙上（一千枚）　三、五〇〇
- 全　並（全）　三、六〇〇
- 全　半罫紙　並（全）　三、〇〇〇
- 半紙罫紙上　一、五〇〇
- 全　並　一、八〇〇
- 全　半罫紙　一、〇〇〇
- 美濃表紙（百枚）　二、〇〇〇
- 半紙表紙（全）　一、五〇〇
- 烏の子（十斤に付）　七、〇〇〇
- 圖引用紙（百枚に付）　三、〇〇〇

●支那向窓張紙
- 二尺角一〆千五百廿枚　二一、〇〇〇
- 一尺八寸角全　九、〇〇〇
- 一尺六寸角全　五、五〇〇
- 包紙　百枚　二、〇〇〇
- スサ紙　十貫目に付　一〇、〇〇〇
- 油紙　一枚に付　二〇

●洋紙類
- 模造紙　百斤に付　一三、〇〇〇
- 西六判鳳印　五、〇〇〇
- 菊判　三、三〇〇
- 赤罫　三、二〇〇

●清商綿布綿糸綿花相場（一捆ニ付）（〇印は日本品）
- 〇十六番手綿撚綿　一〇、三五〇
- 〇十六番手鷄全　九、七〇〇
- 十支若船橋全　八、〇〇〇
- 全　彩船全　七、八〇〇
- 全　入租茶全　七、八〇〇
- 全　紅入竹全　七、五〇〇
- 大丈金寶星全　六、七五〇
- 全　燈塔全　六、七五〇
- 十丈大小英花莫布（一匹ニ付）　四、一二五
- 〇全　一號二甲全　四、〇〇〇
- 〇全　三號二甲全　四、〇〇〇
- 全　一號人馬象全　三、九〇〇
- 全　二號人馬球全　三、八〇〇
- 全　獅　三、八〇〇
- 十五龍印打運布　四、九〇〇
- 全　老雙鹿全　四、八〇〇
- 全　大小英全　四、五〇〇
- 全　大熊星全　四、八〇〇
- 八丈豐裕炊布　四、〇〇〇
- 同興隆大尺布（百尺ニ付）　一、九〇〇
- 永學全　一、八〇〇
- 余福源全　一、六〇〇
- 廣大和全　一、六〇〇
- 公大昌全　一、六〇〇
- 和順長全　一、六〇〇
- 大裕清水希（二匹ニ付）　九、三〇〇
- 發成全　八、三〇〇
- 九華棉花（百斤ニ付）　一、八八〇
- 雪錦全　一、八八〇
- 陳元生全　一、八六〇
- 東京全　一、八六〇
- 四豐全　一、八六〇
- 鼎大全　一、八五〇
- 鴻紀全　一、八五〇
- 朱耀全　一、八四〇

（舊市街大原洋行調）
- 澤鶴（四斗入）一樽　一七、〇〇〇
- 孤水印味淋（四打入）一函　一四、〇〇〇
- 銀印衛萄酒（四打入）全　一九、〇〇〇
- 龜甲萬醬油　一樽　三、九〇〇
- 龜甲營醬油　全　三、〇〇〇
- 全　上（二號）全　二、四〇〇
- 全　（大）全　八、五〇〇
- 菊香印　全　三、五〇〇
- 黃油斗樽　[illegible]

（新市街鹽濱商行調）
- 櫻正宗　四斗入　壹樽　一七、五〇〇
- 全　二斗五升入　全　一一、〇〇〇
- 全　二斗入　全　九、五〇〇
- スペシャー　四打箱　二、五〇〇
- ライト　全　[illegible]
- エビスビール　一函　九、三〇〇
- 醬油金京印　一斗入一樽　三、七〇〇
- 全　銀印　二斗入　全　六、五〇〇
- 全　全　一斗入　全　五、〇〇〇
- 孔雀印平の水一函　四、五〇〇
- シャンピンサイダー全　五、〇〇〇
- シンクヤエール全　五、〇〇〇
- 防長上米　石　三五、〇〇〇
- 中國上白米　全　三三、五〇〇
- 朝鮮白米特等　全　二八、〇〇〇
- 全　上　全　二〇、〇〇〇
- 新極上木炭　正味十貫　一、七〇〇
- 宇治玉露　斤　二、五〇〇
- 上高砂　全　二、五〇〇
- 正喜撰　全　九〇〇
- 烏龍茶上　全　三〇〇
- 全　中　全　一五〇

- 御料印華（大）全　六、〇〇〇
- 東京澤庵（大）一樽　五、〇〇〇
- ならづけ　全　一、三〇〇
- うめぼし　全　六、〇〇〇
- 紅生姜　全　五、五〇〇
- 小田原蒲鉾　一斗　二、〇〇〇
- 全　瓶詰　一函　九、〇〇〇
- （四〇入）白味噌　一樽　七、五〇〇
- （一八入）部床噌（上）一樽　七、五〇〇
- 金山寺味噌（五入）全　四、五〇〇
- 推茸花茶（十貫）　七五、〇〇〇
- 龜事海苔（千枚）　一二、五〇〇
- 鰹節上佐十貫　七〇、〇〇〇
- 全　麻縷（全）　五〇、〇〇〇
- 干瓢（五貫）　三、七〇〇
- 片栗粉（十貫）　七、〇〇〇
- 白玉粉（百本）　八、五〇〇
- 鹽昆布（全）　六、五〇〇
- 高野豆腐（千個）　六、五〇〇
- 燒麩（全）　一、二〇〇
- 山出昆布十貫　五、〇〇〇
- 利尻昆布上（全）　一七、五〇〇
- 同中（全）　[illegible]
- 醬油昆布（全）　一四、〇〇〇
- 白髮昆布（全）　三、五〇〇
- 唐寒天（十五）　[illegible]
- 全　葛（全）　[illegible]
- 鳴門若芽（十貫）　三、〇〇〇
- 寒天（百本）　二、〇〇〇

**▼遼陽物價▲**
- 白米　四斗俵　八、五〇〇
- 白味噌　一貫目　[illegible]
- 砂糖　一斤　二五〇
- 醬油　一斗　四、〇〇〇
- 酒　一升　五〇〇
- 石油　一罐　一、六五〇
- 魚類罐詰　一ダース　三、五〇〇
- 野菜全　全　三、〇〇〇
- 牛肉全　全　三、五〇〇
- バタ　一ポンド　八〇〇
- ソース　半ダース　二、五〇〇
- 御料印ビスケット　半斤　二、〇〇〇
- ハウスホールド　一磅入打　四、五〇〇
- スポンヂー　全　六、〇〇〇
- 全　全　七、〇〇〇
- ローズ　全　七、〇〇〇

●菓子類
- ビスケット　一磅　一、〇〇〇
- トロップス壜入全　[illegible]
- スターー罐入全　[illegible]
- ビール一壜　[illegible]
- 壜詰酒機械口全　[illegible]
- エジプト煙草　百本　一、八〇〇
- メリケン帽子　一個　六、五〇〇
- 鳥打　全　二、〇〇〇
- カラー　全　[illegible]
- ワイシャツ　全　二、〇〇〇
- フランネルシャツ全　三、〇〇〇
- 木綿メリヤスシャツ上下　一、五〇〇
- 毛全　全　二、〇〇〇
- 靴下　一打　一、五〇〇
- 稲鐡錦　一貫目　二、四〇〇
- 下駄表付　一足　二、〇〇〇
- 全　桐直バキ　全　二、〇〇〇
- 全　山桐全　全　三、三五〇
- 半紙　壹〆　二、八〇〇

- 硯箱　壹個　[illegible]
- 筆　壹對　[illegible]
- 墨　壹挺　一、〇〇〇
- ヅボンツリ　一　二、〇〇〇
- 算盤　一　一、八〇〇
- 狀袋　百枚　[illegible]
- 卷紙　一本　[illegible]
- チリ紙　一〆　[illegible]
- ネキタイ　一　二、〇〇〇
- ネキタイピン　一　二、〇〇〇
- 石鹼　舶來一　三、〇〇〇
- 全　內國製一　[illegible]

●靑臼米（一石ニ付）（國府瀏菜洋行）
- 特等（◎印）　三、七〇〇
- 壹等（◎紫印）　三、三〇〇
- 壹等（◎青印）　三、〇〇〇

●罐詰類
- 鮭（一斤）四ダース　八、八〇〇
- 鱒（半斤）八ダース　九、〇〇〇
- 鯖（一斤）四ダース　八、八〇〇
- 鯖（半斤）八ダース　九、〇〇〇

●化粧品
- 御園白粉四半花壹ダース　一、一〇〇
- 御園の雪　全　大　三、五〇〇
- 全　小　一、二〇〇
- 御園とき水全　一、六〇〇
- 御園齒磨全　二、二〇〇
- 全　壜入全　五、〇〇〇
- チエリーオイル全　大　七、五〇〇
- 中　四、〇〇〇
- チエリーポマード全　小　三、五〇〇

（向井洋行）
- 清酒金露　四斗四升　金票　一八、〇〇〇
- 札幌ビール四ダース函　一〇、一〇〇
- 醬油上印壹斗　三、三〇〇
- 全　梅印　全　三、一〇〇
- 全　櫻印　全　三、一〇〇
- 全　福印　全　二、八〇〇
- 東京澤庵漬十二貫　六、八〇〇
- 御料印ビスケット一磅　[illegible]

## ▼大連物價▲

●鐵板類（三重洋行支店）

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 十二枚モノ | 一枚 | 七〇〇 |
| 十一枚モノ | 仝 | 七五〇 |
| 十枚モノ | 仝 | 八〇〇 |
| 厚モノ | 百斤 | （七、四〇〇）（七、六〇〇） |

●洋鐵類　十貫目

| 品名 | 價格 |
|---|---|
| スイツル丸鐵 | （四、二〇〇）（四、五〇〇） |
| 仝角鐵 | （四、二〇〇）（四、五〇〇） |
| 仝平鐵 | （四、二〇〇）（四、七〇〇） |
| 丸、角、平、鋼鐵 | （五、五〇〇）（六、〇〇〇） |

●セメント類

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 淺野セメント | | 六、五〇〇 |
| 大阪仝 | | 六、二〇〇 |
| 外國仝 | | 五、九〇〇 |
| 火山灰 | 一箱入 | 一、一五〇 |
| 胡粉 | 一叺 | 二、二〇〇 |

●角叉及苧莇　十貫

| 品名 | 價格 |
|---|---|
| 松前角叉 | 六、〇〇〇 |
| 新鮮仝 | 四、二〇〇 |
| 白苧 | 五、〇〇〇 |
| 中仝 | 三、八〇〇 |
| 赤仝 | 三、二〇〇 |
| 紙若上 | 二、八〇〇 |
| 仝次 | 二、五〇〇 |

●和洋食料品（吉野町二丁目河村洋行）（各十樽ニ付）

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 東京澤庵 | 十二〆目 | 三七、〇〇〇 |
| 奈良漬 | 八〆目 | 一三五、〇〇〇 |
| 掛龍 | 十二〆目 | 六五、〇〇〇 |
| 味噌漬大根 | 同 | 九〇、〇〇〇 |
| 仙臺味噌極上 | 六〆目 | 七五、〇〇〇 |
| 同 | 同 | 七〇、〇〇〇 |
| 白味噌 | 同 | 六五、〇〇〇 |
| 金山寺味噌 | 五〆目 | 三五、〇〇〇 |
| 卷梅干 | 二〆二百目 | 三三、〇〇〇 |
| 赤梅漬 | 三〆目 | 六五、〇〇〇 |
| 紀州梅干 | 五〆目 | 三五、〇〇〇 |
| 万印醬油 | 九升詰 | 三六、〇〇〇 |
| 山サ印醬油 | 仝 | 三五、〇〇〇 |
| 山山印醬油 | 同 | 三二、〇〇〇 |
| 平和印醬油 | 同 | 三三、五〇〇 |
| 氷龍印醬油 | 同 | 三〇、〇〇〇 |
| 亀印醬油 | 同 | 二三、〇〇〇 |
| 民榮印醬油 | 同 | 一八、〇〇〇 |
| 華印醬油 | 同 | 一九、〇〇〇 |
| 華印醬油 | 三斗九升 | 六五、〇〇〇 |

●醬油（信濃町河又出張所）

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 極上印 | 九升詰 | 三、五〇〇 |
| 上印 | 〃 | 三、二〇〇 |
| 櫻 | 〃 | 二、九〇〇 |
| 龍 | 〃 | 二、七〇〇 |
| 編 | 〃 | 二、五〇〇 |
| 壽 | 〃 | 二、三〇〇 |
| 菊 | 〃 | 二、一〇〇 |
| 海口樽 | 〃 | 三、二〇〇 |
| 仝竹 | 〃 | 二、九〇〇 |
| 仝寶 | 〃 | 二、七〇〇 |
| 上 | 正二斗詰 | 六、三〇〇 |
| 櫻 | 〃 | 五、五〇〇 |
| 龍 | 〃 | 五、〇〇〇 |
| 編 | 〃 | 四、七〇〇 |
| 壽 | 正三斗五升詰 | 七、〇〇〇 |
| 編 | 〃 | 六、七〇〇 |
| 菊 | 〃 | 六、三〇〇 |

●味噌

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 白 | 廿貫入 | 八、二〇〇 |
| 赤 | 仝上 | 七、八〇〇 |

●油類及塗料（各一斗罐二個入一函ニ付）

| 品名 | 價格 |
|---|---|
| 久美油 | 六、五〇〇 |
| 白絞油（上） | 三、三〇〇 |
| 同（中） | 二、三〇〇 |
| 同（下） | 二、〇〇〇 |
| 正種油（上） | 二、五〇〇 |
| 鯨油 | 九、〇〇〇 |
| 馬油 | 一〇、〇〇〇 |
| 桐油 | 二〇、〇〇〇 |
| 荏油 | 三八、〇〇〇 |
| スノー一番白ペンキ | 四五、〇〇〇 |

（各入開一函ニ付）

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 保萬齡漬 | 一斤罐 | 八、二〇〇 |
| 葉唐辛子 | 同 | 八、二〇〇 |
| 牛肉甲 | 同 | 二、二〇〇 |
| 同乙 | 同 | 八、五〇〇 |
| さゞい | 同 | 七、八〇〇 |
| かつをぶし | | 七、七〇〇 |
| 大烏賊 | | 七、二〇〇 |
| 松茸ボイルト | | 九、〇〇〇 |
| しほしやけ | | 九、〇〇〇 |
| 鰯缶詰甲 | | 六、五〇〇 |
| 同乙 | | 六、〇〇〇 |
| あかがい | | 六、八〇〇 |
| ならづけ | | 七、五〇〇 |
| 棒大煮 | | 五、三〇〇 |
| 鯨日本煮角罐 | 半斤罐（六打二函） | 八、五〇〇 |
| あなご蒲鉾 | 同八打一函 | 三、六〇〇 |
| 筍ボイルド | 三斤罐三〇本 | 五、四〇〇 |
| 香紫菜小瓶入 | （百本） | 一〇、〇〇〇 |
| ハゼ佃煮 | 三〆目（各一樽ニ付） | 六、九〇〇 |

●世帶道具（信濃町増井商會）

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 十四吋バケツ | 壹打 | 三、六〇〇 |
| 壹番 | | 三、一〇〇 |
| 貳番 | 仝 | 二、七〇〇 |
| 參番 | 仝 | 二、五〇〇 |
| 鉄今呂 | 仝 | 二、〇〇〇 |
| 仝大 | 十個 | 六、八〇〇 |
| つや消會席膳 | 中 尺一十人 | 五、五〇〇 |
| 全 | 尺二 | 四、二〇〇 |
| 溜內消全 | 尺二 | 六、〇〇〇 |
| 吸物椀龜甲 | 三八 | 一、〇〇〇 |
| 仝 | 四寸 | 一、八〇〇 |
| 仝曙溜 | 四寸 | 一、八〇〇 |
| 全 | 四寸仙 | 一、八〇〇 |
| 吸物椀蒔繪入 | 自オ至 | 二、八〇〇 |
| 菓子椀蒔繪入 | 自至 | 二、八〇〇 |

| 品名 | 價格 |
|---|---|
| 同二番 | 四、〇〇〇 |
| 同三番 | 三、七〇〇 |
| 船來光明丹 | 三、二〇〇 |
| ハバツクスボイル油 | 八、六〇〇 |
| バーレル同 | 七、六〇〇 |
| コールタ | 二、二〇〇 |
| ○一赤マシン油 | 三、七〇〇 |
| ○スーヒンドル油 | 三、〇〇〇 |
| 同シリンドル油 | 四、〇〇〇 |
| 同車軸油 | 五、〇〇〇 |
| 同車油 | 二、六〇〇 |
| 同 | 三、三〇〇 |

## ▼奉天物價▲（小賣相場）

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 澤龜 | 一樽 | 金票二七、五〇〇 |
| 蜂印葡萄酒 | 一箱 | 支那票三二、〇〇〇 |
| 龜甲萬醬油 | 一樽 | 四二、〇〇〇 |
| 鹽甲醬油 | 一號全 | 四一、五〇〇 |
| 仝上 | 二號全 | 三五、〇〇〇 |
| 仝 | 入全 | 三六、〇〇〇 |
| 東京澤庵 | 全 | 九、五〇〇 |
| 奈良漬 | 全 | 六、五〇〇 |
| うめぼし | 全 | 六、五〇〇 |
| 紅生姜 | 全 | 一〇、〇〇〇 |
| 花辣韮 | 三斗八升入全 | 一一、〇〇〇 |
| 白味噌 | 櫻井十八貫入金 | 四八、〇〇〇 |
| 赤味噌 | 仝十九貫入 | 八三、〇〇〇 |
| 金山寺赤味噌 | 七貫入 | 三、〇〇〇 |
| 椎茸荒葉 | 十貫目奉銀 | 八〇、〇〇〇 |
| 全上コミ | 全 | 七二、〇〇〇 |
| 淺草海苔 | 千枚 | 一〇、〇〇〇 |
| 鰹魚（土佐） | 十貫 | 八五、〇〇〇 |
| 仝（薩摩） | 仝 | 八五、〇〇〇 |
| 干瓢 | 十貫 | 二六、〇〇〇 |
| 片栗粉 | 仝 | 三二、〇〇〇 |
| 白玉粉 | 仝 | 三二、〇〇〇 |
| 晒飴 | 十貫 | 三二、〇〇〇 |

●穀物（每斗）

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 日本白米 | 一俵 | 一六、〇〇〇 |
| 平野米 | 仝 | 一〇、八〇〇 |
| 黄豆 | 仝 | 一、二〇〇 |
| 黒豆 | 仝 | 一、二〇〇 |
| 小豆 | 仝 | 一、〇〇〇 |
| 大麥 | 仝 | 一、〇〇〇 |
| 小麥 | 仝 | 一、一〇〇 |
| 高粱 | 仝 | 一、三〇〇 |
| 小米 | 仝 | 一、〇〇〇 |
| 粳米 | 一斗 | 一、〇〇〇 |
| 豆餅 | 一塊 | 一、〇〇〇 |
| 豆油 | 一斤 | 四〇〇 |
| 朝日ビール | 一箱 | 一〇、〇〇〇 |
| 醬油エキス | 一罐 | 三、〇〇〇 |
| 石油 | | 三、五〇〇 |
| 白糖 | 全 | 五、〇〇〇 |
| 編縮麻 | 全 | 一、一〇〇 |
| 寄麻 | 一斤 | 一、〇〇〇 |
| 大麻 | 一兩 | 一、〇〇〇 |
| 片手煙 | 仝 | 一、〇〇〇 |
| 柳子煙 | 一斤 | 三〇〇 |
| 寒天 | 千個入 | 二、五〇〇 |
| 白門若芽 | 十貫 | 一二、〇〇〇 |
| 白髪こぶ | 十貫 | 一〇、〇〇〇 |
| 出シ利尻こんぶ | 十貫 | 一九、〇〇〇 |
| 山出シこんぶ | 十貫 | 一三、〇〇〇 |
| 燒麩 | 千個 | 一五、〇〇〇 |
| 高野豆腐 | 二百個入 | 六、〇〇〇 |

| 品名 | 價格（吊） |
|---|---|
| 元豆 | 六、二〇〇 |
| 紅豆 | 三、二〇〇 |
| 小豆 | 五、二〇〇 |
| 吉豆 | 六、一〇〇 |
| 合豆 | 六、一〇〇 |
| 芝麻 | 九、〇〇〇 |
| 谷子 | 二、八〇〇 |
| 小米 | 六、一〇〇 |
| 小麥 | 八、二〇〇 |
| 球米 | 四、〇〇〇 |
| 粳米 | 二、八〇〇 |

●銀市（十月二日）

| 品名 | 價格 |
|---|---|
| 銀數 | 九吊九百四十文 |
| 現銀元行 | 六吊〇八百四十文 |
| 票銀毎加色 | 九吊八百二十文 |
| 現銀 | 一百二十文 |
| 紗票 | 十一元二毛五 |
| 老頭票 | 六元五毛 |
| 羌帖 | 八元五毛 |
| 英洋 | 十三元 |
| 人洋 | 十八元 |
| 龍洋 | 十七元五毛 |
| 日本手形付行 | 六吊四百文 |
| 毎十圓＝付 | |
| 日本金票 | 買 六元五毛 |
| 軍票 | 買 七元五毛 |
| | 買 十一元八毛 |
| | 買 十二元三毛 |

## ▼鐵嶺物價▲

●穀類

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 白米防長 | 一等　一石 | 三三、〇〇〇 |
| 仝 | 二等 | 三一、〇〇〇 |
| 朝鮮石拔 | 特等 | 三〇、〇〇〇 |
| 全 | 一等 | 二九、〇〇〇 |
| 全 | 二等 | 二七、〇〇〇 |
| 全 | 三等 | 二六、〇〇〇 |
| 元豆 | 全 | 二一、〇〇〇 |
| 黒豆 | 全 | 二三、〇〇〇 |
| 小豆 | 全 | 二六、〇〇〇 |
| 高粱 | 一担 | 二三、〇〇〇 |
| 包米 | 全 | 二一、〇〇〇 |
| 紅小豆 | 全 | 三、〇〇〇 |
| 白小豆 | 全 | 二、六〇〇 |
| 黄大豆 | 全 | 三、六〇〇 |
| 青大豆 | 全 | 三、六〇〇 |
| 豆粕 | 一斤 | 一、四〇〇 |
| 小豆粕 | 百斤 | 二、四〇〇 |

●味噌

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 白味噌 | 十八貫入十樽 | 七〇、〇〇〇 |
| 赤仝 | 全 | 七〇、〇〇〇 |
| 金山寺 | 五貫入全 | 四〇、〇〇〇 |

●漬物

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 奈良漬 | 八貫入十樽 | 一三〇、〇〇〇 |
| 大根味噌漬 | 十三貫入全 | 九〇、〇〇〇 |
| 東京澤庵 | 二貫二百入全 | 二八、〇〇〇 |
| 卷梅干 | 十二貫入全 | 三四、〇〇〇 |
| 赤梅干 | 全 | 一一、〇〇〇 |
| 紅生姜 | 全 | 七、〇〇〇 |
| 花辣韮 | 一四打入 | 六、五〇〇 |
| 白辣韮罐詰 | 一四打入 | 七、五〇〇 |
| 保萬齡漬 | 一斤入十四打 | 九、〇〇〇 |
| 仝唐辛子 | 半斤入十打 | 三、〇〇〇 |
| 時雨煮葉 | 一斤入四打 | 九、〇〇〇 |

●醬油

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 國運 | 九升入十樽 | 三七、五〇〇 |
| 萬歳 | 全 | 三五、〇〇〇 |
| 平和 | 全 | 三三、〇〇〇 |
| 米印 | 全 | 三二、〇〇〇 |
| 仝 | 全 | 三一、五〇〇 |
| 甲印 | 全 | 三〇、五〇〇 |
| 鹽印 | 一斗入 | 四二、〇〇〇 |
| 山サ印 | 全 | 四一、〇〇〇 |
| 菊香印 | 全 | 三九、〇〇〇 |
| 上玉印 | 全 | 三三、〇〇〇 |
| 東一印 | 全 | 三二、〇〇〇 |
| 甲子印 | 全 | 二一、八〇〇 |

●酢

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 鯱印 | 三斗五升入 | 六、〇〇〇 |
| 仝 | 一斗入 | 二、二五〇 |
| 白鷺印 | 四斗入 | 六、二〇〇 |

●淸酒

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 百合正宗 | 四斗三升 | 一七、二〇〇 |
| 澤鶴 | 四斗五升 | 一七、三〇〇 |
| 菊正宗 | 三斗九升 | 一九、〇〇〇 |
| 白鶴 | 仝 | 一七、四〇〇 |

●麥酒及洋酒

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 旭ビール | 四打一箱 | 一二、八〇〇 |
| 仝スタウト | 全 | 一四、〇〇〇 |
| 札幌ビール | 全 | 一三、五〇〇 |
| 恵比須ビール | 全 | 一三、〇〇〇 |
| キリンビール | 全 | 一五、〇〇〇 |
| スナビン | 全 | 一三、五〇〇 |
| 蜂印香竄葡萄酒 | 一打入全 | 一二、五〇〇 |
| 白鶴葡萄酒 | 全 | 一九、〇〇〇 |
| 牛印葡萄酒 | 全 | 一八、五〇〇 |

●飲料水

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 孔雀印平野水 | 四打入 | 五、八〇〇 |
| 希引炭酸水 | | 五、八〇〇 |
| シャンペン | 全 | 六、五〇〇 |
| サイダー | 全 | 六、五〇〇 |
| 三ツ矢印サイダー | 全 | 六、五〇〇 |
| イダーサ | 全 | 六、五〇〇 |
| ジンジャー | 全 | 六、五〇〇 |

●罐詰類

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 大鮑ボイルド | 四打入 | 七、八〇〇 |
| サヾエ | 全 | 八、五〇〇 |
| 松茸味附 | 全 | 九、五〇〇 |
| 筍味附 | 全 | 九、五〇〇 |
| 福神漬 | 全 | 七、五〇〇 |
| お多豆 | 全 | 六、〇〇〇 |
| アナゴ蒲燒 | 八打入 | 一三、〇〇〇 |
| 鯛味噌 | 四打入 | 一五、〇〇〇 |
| 海苔佃煮 | 十打入 | 一〇、〇〇〇 |
| カレー粉 | 八打 | 二五、〇〇〇 |
| 鷲印ミルク | 四打 | 二四、〇〇〇 |

●乾物

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 淺草海苔 | 十帖 | 一、四〇〇 |
| 椎茸 | 十貫目 | 七五、〇〇〇 |
| 干瓢 | 全 | 二八、〇〇〇 |
| こぶん上 | | 一五、〇〇〇 |

●茶

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 正喜撰特別上 | 一斤入 | 九〇〇 |
| 全 | 四半斤入 | 二八〇 |
| 入川柳印 | 半斤入 | 一七〇 |

●洋麵

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 寶船印 | 一袋ニ付 | 三、五〇〇 |
| 童印 | 全 | 三、五〇〇 |
| 束龍印 | 全 | 三、四〇〇 |
| 菊水印 | 全 | 三、四〇〇 |
| 栗比印 | 全 | 三、四〇〇 |
| 旗鶴印 | 全 | 三、四〇〇 |

●勞働者賃銀一般

| 品名 | 日本人 | 支那人 |
|---|---|---|
| 一日勞銀 | 一圓 | 一圓 |
| 鐵根職 | 二、五〇〇 | 八〇〇 |

## ▼長春物價▲

| 品名 | 價格 | 價格 |
|---|---|---|
| 石工 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 |
| 左官 | 二、〇〇〇 | 一、八〇〇 |
| 入工 | 五〇〇 | 八〇〇 |
| 木挽 | 二、五〇〇 | 一、八〇〇 |
| 鍛冶職 | 二、五〇〇 | 九〇〇 |
| 煉化職 | 二、五〇〇 | 二、〇〇〇 |
| 指物職 | 四、二〇〇 | 一、八〇〇 |
| 轆轤職 | 二、〇〇〇 | 二、〇〇〇 |
| ペンキ職 | 二、五〇〇 | 一、七〇〇 |
| 武力夫 | 三、〇〇〇 | 二、〇〇〇 |
| 土工 | 一、〇〇〇 | 三〇〇 |
| 紙帖職 | 一、五〇〇 | 七〇〇 |

| 品名 | 單位 | 價格 |
|---|---|---|
| 入豆 | 一石 | 吊文 一三、〇〇〇 |
| 小麥 | 全 | 一三、〇〇〇 |
| 豆粕 | 卅斤物 | 一、七〇〇 |
| 硬米 | 一石 | 一八、〇〇〇 |
| 粳粱 | 一石 | 六、五〇〇 |
| 豆油 | 一百斤 | 三一、〇〇〇 |
| 高粱 | 一石 | 三三、〇〇〇 |
| 黒砂糖 | 仝 | 三三、〇〇〇 |
| 白砂糖上 | 仝 | 三三、〇〇〇（軍票） |
| 米 | 十八貫 | 二四、〇〇〇 |
| 酒澤白菊 | 十八貫 | 二一、〇〇〇 |
| 味噌龜甲 | | 二一、〇〇〇 |
| 醬油萬印 | 一箱 | 二、二〇〇 |
| 石油三星印 | 一箱 | 三、五〇〇 |
| 石炭 | 一噸 | 一〇、五〇〇 |
| 蠟燭 | 一箱 | 四、五〇〇 |
| 燐寸 | 仝 | 五、五〇〇 |
| 綿布白 | 一匹 | 二、二〇〇 |
| 白麵（ハルピン製一袋百四十五斤入） | | 一吊 二五、〇〇〇 |
| 仝（米國製一袋四十斤入） | | 七、五〇〇 |
| 全豆 | 一石 | 三、八〇〇 |
| 小麻 | 一百斤 | 六、五〇〇 |
| 粟 | 一石 | 一、八〇〇 |
| 綿 | 一百斤 | 二三、〇〇〇 |
| 仝上 | 全 | 二〇、〇〇〇 |
| 毛頭紙 | 一刀百九十枚 | 八四、〇〇〇 |
| 葉烟草上 | 百斤 | 六〇、〇〇〇 |
| 仝並 | 全 | |
| 數嶋 | 廿入 | 一、一八〇（洋） |
| 大和 | 全 | 一、八〇〇 |
| 朝日 | 全 | 一、一五〇 |
| ヒーロー | 一箱五〇入 | 二、二〇〇（軍票） |
| ビール | 一箱 | 二一、〇〇〇 |
| 軍票 | 一圓官帖 | 二吊九百三十文 |
| 金票 | 一圓 | 二吊八百文 |
| 軍票 | 一圓洋錢 | 一圓十二錢 |
| 金票 | | 一圓〇七錢 |